

令和4年度

京都市立第四錦林小学校

研究の概要

研究報告

校内研究 学習指導案集

年間指導計画表

(関連単元配列表)

研究の概要

令和4年度 研究の概要

第四錦林小学校研究部

学校教育目標

自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる

1 研究主題

情報活用能力を発揮して、自信をもって表現する子の育成
～GIGA 端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをとおして～

2 研究仮説

これまでの研究で大切にされてきた「生徒指導三機能（「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する）」は、学級経営、授業づくりの基本とし、日々の教育活動全体を通して児童の「自己指導力」を高めていくことは変わらない。その上で、GIGA 端末を活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体として充実させていく。それにより、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを行う。このような学習活動を通して身につけた「情報活用能力」を発揮すれば、自らの考えや判断の根拠を持つことができ「やってみよう」とチャレンジする子を育てることができるのではないだろうか。

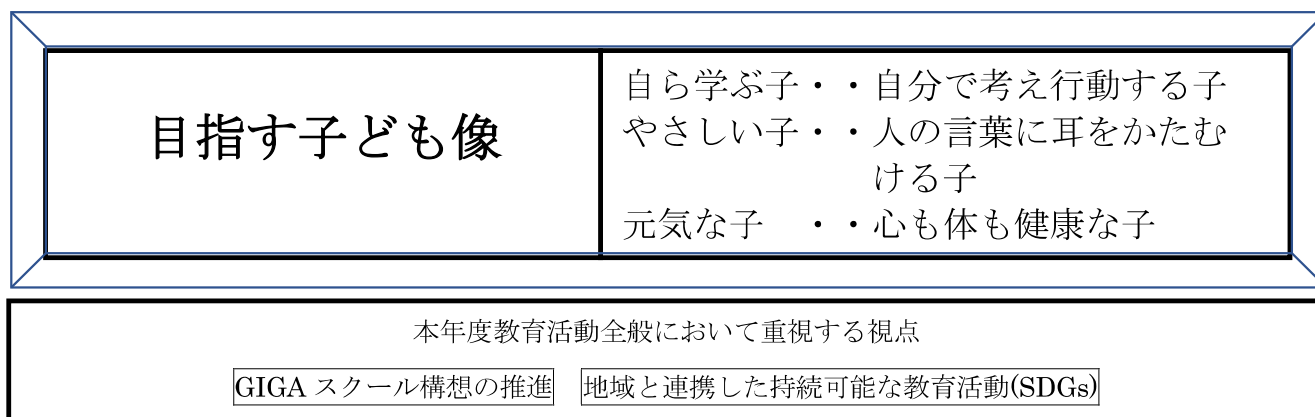
3 研究主題設定の理由

本校児童の特徴として、大人から言われたことは守り、頑張ろうとする姿が見られ、友だちとも仲よくしよう、やさしくしようと行動し、真面目で穏やかな子が多い。反面、自分に自信がもてずに教師や大人の判断を待ったり、友だちの言動に影響を受け、安易な方に流されたりすることが多い。また、自分の思いを表現したり伝えたりすることが苦手で、相手を傷つける言葉や手を出してしまう行動に表れるなど、個別の支援を必要とする児童への適切な指導・支援も求められる。

このような背景から、学校教育目標を「自ら考え判断し、自信をもって行動する子を育てる」と掲げ、将来の予測が困難な時代にも、多様な他者と関わりながら、自律して行動できる力を備えた子どもの育成をめざしている。そして、Society5.0 時代を生きるデジタル・ネイティブな子どもたちが、デジタル社会の一員として、よりよい社会を築いてほしいと願う。

本研究では、「情報活用能力を発揮して、自信をもって表現する子の育成～GIGA 端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをめざす授業改善～」を目的とし、情報活用能力を「表現力」からアプローチする。「表現力」に焦点を当て、情報活用の一連の学習活動を何度も繰り返し、探究的な学習を進めることで、学習の基盤となる情報活用能力の厚みが増してくると考える。そのためには、中教審答申（令和3年1月）で言われているように、GIGA 端末を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びをめざして授業改善に取り組むことが求められる。

子どもたちに確かな情報活用能力を育成し、それをあらゆる学習活動で発揮させ、学校教育目標に掲げる子どもの育成をめざしていきたい。



自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる

校内研究会

校長 教頭 教務 研究部 GIGA 推進チーム
 生徒指導部・特活部 総合育成支援部 人権教育部 各教科主任

研究部

【授業研究チーム】

【学力分析・基礎学力チーム】

各部会の働きと連携

研究	
【授業研究チーム】 - 年間 7 回の校内研究授業および事後研究会の実施 - 校内研修会(理論・実技)の企画および運営 - 取組評価 (PDCA サイクルの構築)	【学力分析・基礎学力チーム】 - 各種調査を分析し、評価を行う。 - 表現力についての評価指標の作成。 - 学力定着に向け家庭学習や帯時間の学習の提案
GIGA 推進チーム - タブレット端末活用計画の策定 - タブレット端末活用実践研修 - GIGA スクール構想にまつわる理論研修 - 各学級のメディア活用サポート	総合育成支援部 - 支援が必要な児童情報の共有およびケース会議 - 総合育成支援に関わる全校取組の提案・運営 - 校内研修会の企画・運営 - 個別の指導計画の管理
人権教育部 - 各領域からの全校取組提案および運営 - 全校取組への環境整備 - 校内研修会の企画および運営 - 人権啓発参観、事後啓発の企画および運営	生指・特活部 - 生徒指導問題の共有およびケース会議の実施 - 生指、特活に関わる全校取組の提案・運営 - 児童会活動の企画、運営 - いじめ、不登校対策委員会の運営

5 研究計画

	内 容
4 月	4 月 8 日 第 1 回校内研究会 研究の概要の提案・情報モラル教育年間計画・基礎学力チームより教室環境、家庭学習、帯時間の学習の提案・公開授業年間計画作成に向けた希望調査 4 月 11 日 第 2 回校内研究会 関連単元配列表・資質能力育成の作成 4 月 14 日 第 3 回校内研究会 理論研修（情報主事？大学講師？）情報活用能力とは
5 月	5 月 16 日～17 日 山の家宿泊学習（5 年） 5 月 26 日 第 4 回校内研究会 6 月授業の検討会・事前指導
6 月	6 月 1 日～2 日 修学旅行（6 年） 6 月 23 日 第 1 回校内研究授業公開（4 年） 6 月 23 日 第 5 回校内研究会（学力分析・評価チームより 評価指標についての提案
7 月	児童アンケート①（学校評価アンケート）・教員アンケート①実施 7 月 7 日第 5 回校内研究会（自由研究発表会に向けて・夏休みの宿題についての提案） 7 月 21 日第 6 回校内研究会（関連単元配列表のふりかえり） 夏季各種研修会・講座への参加
8 月	支部研究発表授業 イメージ会議 8 月 18 日～24 日の間第 7 回校内研究会（学力分析？夏季研修等の伝達研修？） 夏休み以降の授業公開について、主事派遣を依頼しての事前指導
9 月	9 月 6 日～8 日 自由研究発表会 第 8 回校内研究会 9 月 22 日 第 2 回校内研究授業公開（6 年）
10 月	10 月 4 日 スポーツフェスティバル（平日午前開催） 第 9 回校内研究会 10 月 27 日 第 3 回校内研究授業公開（1 年）
11 月	11 月 25 日学習発表会⇒各学年の学習進度に合わせて日程調整 第 10 回校内研究会 11 月 24 日 第 4 回校内研究授業公開（育成）
12 月	児童アンケート②（学校評価アンケート）・教員アンケート②実施
1 月	1 月 10 日 第 11 回校内研究会 関連単元配列表のふりかえり・研究発表会に向けてのまとめ 2 月 2 日 第 12 回校内研究会 支部研究発表会準備
2 月	2 月 7 日支部研究発表会 2 月 7 日 第 5・6・7 回校内研究（2・3・5 年） 児童アンケート③（学校評価アンケート）・教員アンケート③実施
3 月	3 月 9 日 第 13 回校内研究会 研究のまとめ（年間反省・アンケート分析・来年度に向けて）関連単元配列表のふりかえり・総合的な学習の時間のふりかえりと単元構想の練り直し・情報モラル教育のふりかえりと年間計画の見直し （研究冊子作成）

【校内研究会の流れ】

- ①イメージ会議 →指導案作成・・・授業日 30 日前 前後
（学年＋研究主任＋GIGA 推進担当＋各教科主任）
- ②専門主事 事前指導助言・・・授業日 3 週間前
（学年＋研究主任＋GIGA 推進担当）
- ③事前授業 → 事前授業事後検討会・・・授業日 2 週間前
（学年＋研究主任 or GIGA 推進担当）
- ④指導案完成・提出・・・授業日 1 週間前
- ⑤一部授業公開（学年部希望者＋研究主任 or GIGA 推進担当） → 事後研究会（全教職員）

○カリキュラムマネジメント（既習単元および他教科領域との横断型授業の構築）

「自ら考え 判断し、行動する子を育てる」ために、既習単元および他教科領域との横断型授業を構築する。付けたい力を逆算的に捉え、学びをつなげていくとともに、学びの PDCA サイクルを展開する。授業の中では、既習単元および他教科との横断型授業の構築を行うことで児童がより意欲をもって、主体的に（自分で考え、判断して）活動に取り組むことができるようにする。また、再理解の機会や思考の深まりを促す。

例 国語科 ⇔ 学級活動（話し合い活動）

国語科：自分の考えを他者との交流活動を通して推敲する
⇔ 学級活動：他者の考えをふまえ、よりよい出口を模索する。

例 算数 ⇔ 図画工作

算数：既習の学習事項を生かして問題解決をする
⇔ 図画工作：既習事項やこれまでの生活経験をもとに表現方法を工夫する

○児童が伸びを実感できる指導・相互評価の工夫

「できること」ばかりを取り上げるのではなく、「できるようになったこと」「意図をもって取り組もうとしていること」「考えの根拠や過程」を大切にする。

→ 児童の実態・課題を明確にし、スモールステップで意欲をもって取り組める指導

例 体育科の相互評価

難度の高い技能をお手本のように紹介するばかりではなく、これまでではできなかったことが出来るようになった姿を紹介し認め合う。

例 図画工作科の相互評価

技能の高い作品をお手本のように紹介するばかりではなく、着眼点の面白さ、工夫しようと試みている姿を紹介し認め合う。

○「振り返り」の充実

- ・振り返りの時間の十分な確保
- ・振り返りの視点の明確化 → めあてとの結びつき
- ・板書およびノートの系統化
- ・振り返りシートの活用
- ・机間指導による意図的指名

○研究成果の評価

アンケート結果を分析し、研究の成果と課題、児童の変容を検証する。
児童アンケート、教員アンケート調査を行い、その結果をもとに指導方法のあり方を検討したり、成果と課題、児童の変容を明らかにしたりする。また、アンケート結果の経年比較により効果的な指導の在り方について検証する。

研究報告

今年度の 取り組み内容

- GIGA端末を文房具にするための環境整備
- 「目指す姿」を設定して
関連単位をつないでいく関連単位配列表
- 「つなぐ」を意識した研究の記録について
- 公開授業と研究協議会
- 夏休み自由研究と自由研究発表会
- 学習発表会
- デジタルシチズンシップ授業公開

GIGA端末活用 はじめの一步

GIGA端末は文房具

登校したら、保管庫からお道具箱に入れ、
いつでも使える状態にする。

お道具箱の中を
整理する。



使用頻度の低いものは
担任が預かり、
スペースを確保する。



道具を大切に使う

6年生から新1年生へ
ていねいに受け継ぐ

- 学年末に6年生が
GIGA端末を清掃。
- 新1年生に向けて、
楽しく正しい活用を
紹介する動画を作成。



- 新1年生がGIGA端末と
出会う場面に活用する。

学年末に目指す児童の姿

■基本的な操作

- 6年：選択できる力・共同編集
- 5年：Word・共同編集
- 4年：PowerPointでのプレゼンテーション・フォルダへの保存
- 3年：ロイロノートでのプレゼンテーション・ローマ字入力
- 2年：ロイロノートで送信や提出
- 1年：ログイン・写真撮影

■情報活用能力

- 6年：合意形成のために最適な方法を選択する。
- 5年：ふせんやロイロノートなどを使って思考を表現し、異なる意見を整理したり話し合ったりする。
- 4年：ふせんを使っての交流・シンキングツールを活用して異なる意見を整理する。
- 3年：ふせんを使って表現した考えを交流する。
- 2年：ふせんやカードを使って表現し自分の考えを整理する。
- 1年：自分の考えを記録する。

「つなぐ」
を意識した
研究の記録

育成する
資質能力
(児童の姿)

GIGA端末の
「基本的な
操作等」
指導計画例

資質能力を育成するために、学びと学びをつなぐ
記録を引継ぎ資料として、次年度へと学びをつなぐ
先行研究の成果と本校の研究をつなぐ
異動しても活用できることで、学校と学校をつなぐ

関連単元配列表の活用

&

業務のスリム化・省力化

授業実践や
指導資料の
記録

夏休みの自由研究 & 自由研究発表会

夏休みの自由研究

夏休みは自分の興味・関心に向かって学びたいことを探求する絶好のチャンスです。自分の知識・スキルを伸ばすだけでなく、自由研究という形でまとめることができます。また、学年にはさまざまな先生が在籍する自由研究発表会を行い、自分たちの研究成果を発表し、学びの機会を共有します。

夏休みに入るまでに 自由研究のテーマを決めよう

- ① テーマ（何について？）
- ② ネット（なぜ？）
- ③ 実験（どうやって？）

保護者向けのプリントを作成し、自由研究のイメージを共有

自由研究のイメージを共有するためのプリントを作成し、保護者の方へ配布しました。プリントには、自由研究のイメージや、保護者の方へのメッセージが記載されています。



話し方・見せ方について指導し、ふりかえりアンケートを行った。

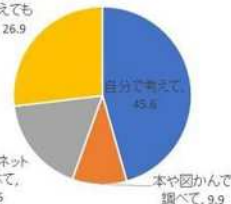
児童が自ら学びたいと考えたことに向かい合い、生き生きと表現できるようにする。

1. 自由研究アンケートによる自己評価から

【5】自由研究の内容はどのようにしてきめましたか。

- ・ 自分で考えて 45.6%
- ・ 本や図かんで調べて 9.9%
- ・ インターネットで調べて 17.6%
- ・ 友だちや家ぞくにおしえてもらって 26.9%

友だちや家ぞくにおしえてもらって、26.9

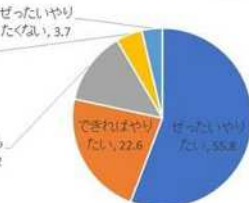


【9】これからも自由研究に取り組みたいですか。

- ・ ぜったいやりたい 55.8%
- ・ できればやりたい 22.6%
- ・ どちらでもいい 13.2%
- ・ できればやりたくない 4.7%
- ・ ぜったいやりたくない 3.7%

できればやりたくない、4.7

どちらでもいい、13.2



発表の「話し方」「見せ方」（全学年規準）

（成果）

- ・ 「です。ます。」など 基本的な話し方は低学年から意識できている。
- ・ 実物や大型TVなどを通して「見せて話す」意識はできている。

（課題）

- ・ 評価の観点ごとのばらつきは大きい。
- ・ モデルとなる「話し方」「見せ方」を十分に知らない。
- ・ 評価の観点を決めて「話し方」「見せ方」の評価活動を増やしていく。
- ・ 内容の評価に加え、方法の評価も重要。
- ・ 聞き方の力も同時に高めていく必要がある。

デジタルシチズンシップ 授業公開

デジタル・シティズンシップ
は、善き使い手としてデジタル・テクノロジーをポジティブに活用し、子どもたちの自律と問題解決を促します。

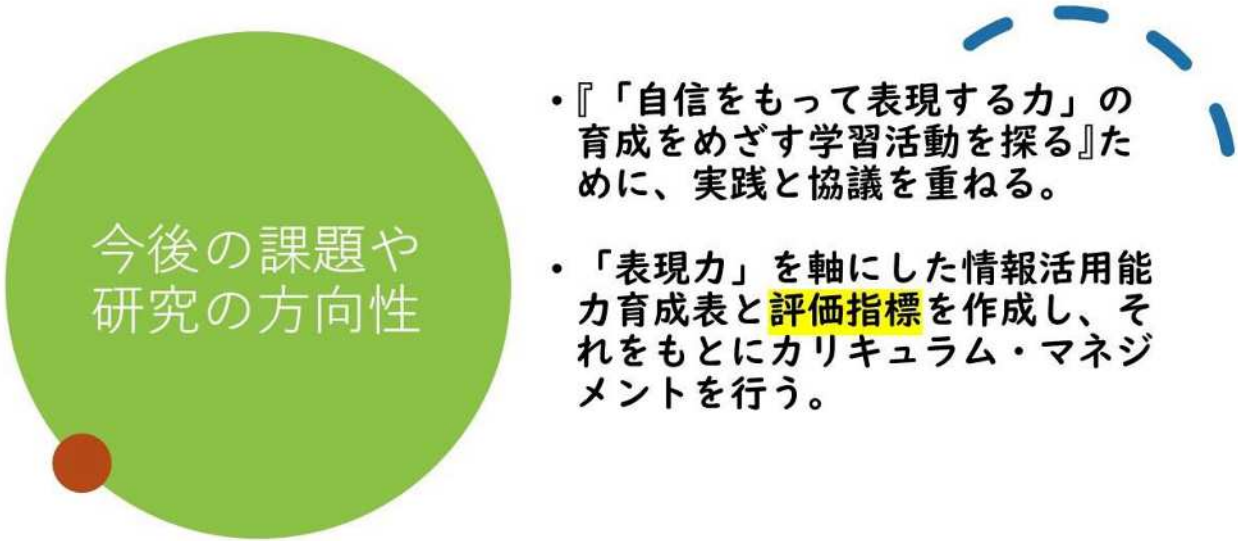


STEAMライブラリー-未来の教室-の教材を活用



指導案・指導資料
(動画・ワークシート) を
活用することで、
短時間で授業準備が可能

計画的に実施することで
効果が高まる



今後の課題や 研究の方向性

- ・『「自信をもって表現する力」の育成をめざす学習活動を探る』ために、実践と協議を重ねる。
- ・「表現力」を軸にした情報活用能力育成表と評価指標を作成し、それをもとにカリキュラム・マネジメントを行う。

自由研究発表会の様子

自由研究発表会 (1年生)



自由研究発表会 (2年生)

自由研究発表会(3年生)



自由研究発表会(4年生)

自由研究 発表会 (5年生)



自由研究発表会(6年生)

学習発表会 (1年生)



学習発表会の様子(2年生)





学習発表会の様子(5年生)

学習発表会 (6年生)



第四錦林小学校

学習指導案集

1 2月7日公開授業 指導案

【2年】国語科「おにごっこ」

【3年】国語科「わたしたちの学校じまん」

【5年】国語科「伝わる表現を選ぼう」

2 校内研究実践授業 指導案&実践報告

【4年】国語科「新聞を作ろう」

【6年】総合的な学習の時間「京都の魅力を発信しよう」

【1年】生活科「いきものとなかよし」

【育成】国語科「ともだちのことをしらせよう」

【2年】学級活動（2）デジタルシチズンシップ学習

「“じぶんの” パソコンとじょうずにつきあうには？」

【5年】学級活動（2）デジタルシチズンシップ学習

「メディアの使い方，自分でバランスをとるには？」

2 月 7 日公開授業 指導案集

第2学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 青井 杏実

1 日 時 令和 5年 2月 7日(火) 第6校時(14:25～15:10)

2 学年・組 第2学年 1組(18名)

3 単 元 名 だいじなことばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう
(教材名) 『おにごっこ』

4 単元の目標

- ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができるようにする。
- ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができるようにする。
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができるようにする。
- 文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとするようにする。

5 単元の評価規準

知・技	① 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)
思・判・表	① 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)
態	① 文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習の見通しをもって本を読んで分かったことを説明しようとしている。

6 単元について

【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

〔知識及び技能〕

(3)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

C 読むこと

(1)読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

(2)(1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。

【単元を通した言語活動】

- ・「クラスのお楽しみ会でみんなとしたい遊びを見つけ、紹介しよう」と設定し、遊びに関する本を読んで調べ、分かったことをまとめた「遊び方説明書」を作る。その後、作った説明書を基に、友達と遊びを紹介し合い、実際に遊ぶ機会を設ける。

【単元構想】

○「出会う」

- ・本単元では単元の最後に「お楽しみ会でやりたい遊びを紹介しよう」という、作った説明書を基に、遊びを紹介し合い、実際に遊ぶ機会を設ける。「みんなで楽しく遊びたい」「自分の紹介した遊びをみんなでやりたい」という思いを常に意識することで、選んだ遊びの遊び方や面白さを友達に分かりやすく表現しなければならないという思いをもって学習に向かうことができるようにする。

○「追究・表現する」

- ・次のような順に、指導事項を指導する。

◆「おにごっこ」について

- ① お楽しみ会でやりたい遊びを紹介するために、「おにごっこ」を読み、書かれているおにごっこが「どんな遊びか」について考える。
- ② お楽しみ会でやりたい遊びを紹介するために、「おにごっこ」で紹介されているおにごっこの「おすすめポイント」を見つける。
- ③ お楽しみ会でやりたい遊びを紹介するために、自分が紹介したい遊びの「おすすめポイント」と「そのわけ」を体験と結びつけながら交流し、考えを明確にする。

○「生かす」

- ・自分の選んだ遊びを友達に紹介する。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
・文章から主語と述語の関係を理解することはできる。 ・読書に親しみを持っており、絵本や昔話、外国の話などいろいろな本があることを知っている。 ・文章の情報から共通点や相違点を見つけることが難しい児童もいる。 (知識及び技能)	・重要な文や語句に線を引くことで、内容を理解できるようにする。
・「馬のおもちゃの作り方」の単元において、事柄の順序や時間的な順序を考えて内容の大体を捉えることができた。 ・筆者の考えに対して、自分なりの思いを持つことができる。 (思考力・判断力・表現力等)	・なかなか考えを持てない児童や早々と自分の考えを持つことができた児童は、ペアで話し合うようにすることで、友達の考えを参考にできるようにする。
・課題に対して前向きであるが、自分の考えに自信がなかったり、全体で積極的に発表できなかったりする児童もいる。 ・友達の意見に対して、反応することができる。 ・感じたことや分かったことを友達と交流することができる。 (学びに向かう力・人間性等)	・発表の前に、ペアやグループで交流する時間を設定したり、同じ考えでも自分の言葉で発表するように促したりする。

7 指導計画 【指導のポイント 手立て ！配慮事項 他教科等との関連 ④個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
1	○学習の見通しをもつ。 ◆知っているおにごっこは、どのようなおにごっこですか。 ・こおりおにやふえおに。 ・てつなぎおにというおにごっこ。 ◆他にもわたしたちの知らないおにごっこがあるかもしれません。 遊びについて書かれた本がたくさんありますよ。 【学習課題】 大事なことばに気を付けて読み、分かったことを知らせよう ◆本を読むと、いろいろな遊びが分かります。読んでからどうしますか。 ・読んで分かったことをまとめて、みんなに発表したい。 ・みんなで分かったことを書いて「○組 あそびずかん」をつくりたい。 ・分かったことを交流して、みんなで遊びたい。	㊦遊びについて書かれた本のブックトークをすることで、本を読む意欲を高め、学習課題をつくるようにする。	態①
2	○説明のしかたを確かめながら文章を読む。 ◆どのようなおにごっこが、どの順番で書かれていますか。 ・「てつぼうよりむこうににげてはだめ。」というおにごっこ ・「にげる人だけが入れるところをつくったり、つかまらないうきをきめたりする」おにごっこ ・「おにが交代せずに、つかまった人がみんなおになっっておいかける。」 ・「おになった人は、みんな手をつないでおいかける。」 ◆なぜこの順番で書かれているのだと思いますか。 ・だんだんつかまらにくくなる順番で書かれている。 ・遊びに工夫がある順番に書かれている。 ・だんだん長く遊べるおにごっこになっている。 ・それぞれのおにごっこの面白さを調べたい。	㊦第1段落に着目して読み、「どのような遊び方があるか」「なぜ、そのような遊び方をするのか」について書かれていることをおさえる。そして、その答えはどこに書いてあるのか探して読むようにし、学習を進めていく。 ICT デジタル教科書等を活用し、傍線を引いたり線で囲んだりした重要な語句や文をタブレットや電子黒板等に示して理由や考えを共有することもできる。	思①
3 4	○それぞれの遊び方が、どのような「おもしろさ」につながっているのかを読む。 ◆それぞれの遊び方には、どのような「おもしろさ」があるのでしょうか。 ・＜1つ目＞おにはにげる人をつかまえやすくなる。 ・＜2つ目＞にげる人がかんたんにはつかまらないようになる。 ・＜3つ目＞おにはにげる人をつかまえやすい。にげる人は、工夫して走ったりにげたりするのでドキドキすることが増えて、面白くなる。 ・＜4つ目＞おにが力を合わせて追いかける楽しさが加わる。おにごっこがすぐに終わらずに長く遊び続けることができる。	㊦P92「たいせつ」を読み、大事な言葉や文を見付けて必要な情報を話すよう働きかける。 ㊦P90「せいをするときのれい」を見て、遊びとそれぞれのおもしろさを表にまとめるようにする。 ㊦遊びを紹介する楽しさに触れることで、本で調べて紹介する活動へつなげる。	思①
5 6	○教材文「おにごっこ」に出てくるおにごっこをもっとおもしろくするためには、どのような工夫を付け足すとよいか考える。 ◆もっとおもしろくするには、どのようなおにごっこにどのようなきまりを工夫したらよいと思いますか。 ・「地面にかいた丸の中ではつかまらない」おにごっこをもっと工夫するとよいと思う。逃げる人がずっと丸の中に入るとおにが困るから、何秒までいられるか決めるといいと思う。 ・丸の中におにが通れる道をつくって、通るときにつかまえられようになると、おにもにげる人もドキドキが増すと思う。	㊦P92「たいせつ」を読み、大事な言葉や文を見付けて必要な情報を話すよう働きかける。	思①

	7	○教材文「おにごっこ」を読んでわかったことや、他の本を読んで調べてみたい視点について話し合う。 ◆「おにごっこ」を読んでどんなことがわかりましたか。また、他の本を読んで、どんなことを友達に知らせたいと思いますか。 ・たくさんおにごっこがあるのは、「おに」も「にげる人」も「走るのが苦手な人」も「走るのが得意な人」もみんなが楽しめるように、どんどんきまりが増えていったんだなと思ったよ。 ・本で調べるときには、「逃げる人とおいかける人」や「ボールを投げる人と受ける人」のように、どんな人が出てくるのか、確かめたいな。 ・調べた遊びも「みんなが」楽しめる工夫があるか、見つけて友達に紹介したいね。		思②
	8	○分かりやすく説明するために、大事な言葉や説明の仕方について考える。 ◆遊びについて分かったことを知らせるために、どんなことに気をつけて、本を読んだらよいでしょうか。 ・知りたいことが書いてあるところを読めばいいね。 ・読んで分かったことはメモしておこう。 ◆91 ページを読みながら、分かったことをどのように説明すればよいか考えましょう。 ・遊びの名前と本の名前がかいてあるね。 ・どんな遊びなのかも書くと分かりやすくなるね。	㊦調べたことを箇条書で付箋にメモをし、順番に並べ替えたり精選したりして、事柄の順序を考えることができるようにする。P93 の「本でのしらべかた」を読み、知りたいことや必要な情報が書かれているところを探して読むこと、分かったことをメモして読むことを確かめる。 ㊧知りたいことについて本で調べるときには、分かったこと一緒に、題名と筆者の名前を正しくメモをするようにする。	知①
	9 10	○おにごっこや他の遊びについて、本を読んで調べる。 ◆遊びを紹介している本を探して読みましょう。 調べるときに気を付けることを確かめましょう。 ◆友達に紹介したい遊びを調べ、大事な言葉を付箋紙にメモしよう。 ・遊びの名前、だれがどのようにして遊ぶのか、どんなおもしろさがあるのか、短い文や言葉でメモに書こう。 ・外国の遊びも面白そうだな。		知①
11 本 時		○読んで調べたことを、書いてまとめる。 ◆付箋紙をならべかえて、説明の順序を考えましょう。 ・P91 の説明のように、みんなに紹介しよう。 ・私は、「世界の子どもの遊び」という本で見付けた「バタダ・ケンチ」というブラジルの遊びを紹介しよう。まず、みんなは輪になって座り、一人がおにになる。おには輪の外に出て目隠しをする。おに以外の人は「バタタ・ケンチ」と言いながら熱いジャガイモのつもりでボールを回す。おにが・・・		
生 か す	12 13	○調べたことを説明し合い、よいところを伝え合う。 ◆友達に調べたことを説明しましょう。よいところを伝え合いましょう。 ・友達の説明が分かりやすくて、すぐに遊びたくなった。 ・はじめに何をするか、次に何をするか、どうしたら遊びが面白くなるのかがよく分かるように教えてくれたのが、すごい。 ◆実際に遊んでみましょう。 ・説明だけだったら分かりにくいところが、実際に遊ぶとよく分かった。 ・新しい遊びを知ってとてもうれしい。 ・もっと、いろんな本を読んで、新しい遊びを調べて説明したい。	㊦実際に活動することで、言葉と経験とを結び付けるようにする。大事な言葉や文が実際にはどのようなものになるのか、確かめながら遊んだりふり返ったりするようにする。	思② 態①
	14	○「この本、読もう」でいろいろな遊びを紹介している本を読み、読書の世界を広げる。 ◆友達が調べた本で、読みたくなった本はありますか。読んでみよう。 ○単元における学びを振り返る。 ◆何度も書くと、自分の「日記帳」ができますね。 ・順序に気を付けて説明すると、分かりやすく伝えることが分かった。 ・知りたいことを見付けながら本を読むには、大事な言葉を見付けるとよいということが分かった。 ・遊びの本もあるなんて、本にはいろいろなものがあるのだな。	㊦読みたい本をどのように見付け、大事な言葉をどのようにして見付けたのか振り返るようにする。順序を考えて読んだり説明したりするよさに気付くようにする。また、様々な本があることを振り返り、これからの読書生活に生かすようにする。	知①

記録に残す主な評価場面（例）

- ・思② 「読んでわかったことや、他の本を読んで調べてみたい視点について話し、まとめたノート」【7時間目】
- ・知① 「遊びの本を見付け、友達に紹介したい遊びについて読書を進めている様子」【9・10時間目】
- ・態① 「本を読んで分かったことを進んで友達に伝えようとする様子」【12・13時間目】
- ・併せて確認（ペーパー）テストを実施し、評価資料として活用する。

8 本時について（11／14）

（1）目標

相手に分かりやすい、選んだ遊びの説明の順番を考えることができる。【思①】

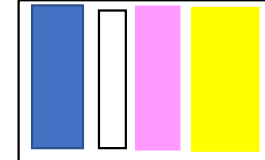
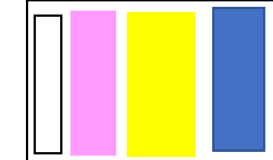
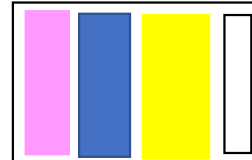
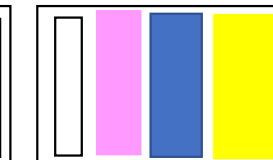
（2）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 ＊留意点 ㊦個別支援
○学習のめあてと流れを確かめる。 ◆前回、説明に必要なことをメモに書きました。メモの内容を分かりやすく伝えるためには、どんな工夫ができますか。 ・くわしく説明する。 ・絵や写真をつける。 ・説明の順番を考える。	◇壁面にこれまでの学習内容を掲示することで、どんな学習をしてきたか、どんなポイントがあったかを、思い出せるようにする。
あい手に分かりやすいせつ明のじゅんじょを考えよう。	
○教科書の説明のモデルや壁面掲示を参考に、説明の順序を考える。（個人） ◆相手に分かりやすい順序に並べ替えてみましょう。また、なぜその順序にしたのか理由も書きましよう。 ・まずは遊びの名前が必要です。 ・本の名前や筆者の名前はどこにしようかな。 ・遊びの名前が最初にあると、何の説明をするか伝わりやすくなる。 ○個人で並べ替えた付箋を共有し、グループでさらに分かりやすくなる順序に並べ替える。 ◆分かりやすく選んだ遊びが伝わるように、メモを並び替えましよう。その順番にした理由も考えましよう。 ・まずはなんの遊びを説明するかが必要です。 ・遊びの短い説明をしてから始めると注目して聞いてくれるかもしれないね。 ○並び替えた順序とそのわけを全体で交流する。 ◆並び替えた付箋を見せながら、その順序にしたわけを発表ましよう。 ○本時の学習を振り返る。 ◆今日の学習を振り返りましよう。	◇調べたことをメモした付箋を順番に並べ替えたり精選したりして、事柄の順序を考えることができるようにする。 ◇遊び方の説明の内容・順序について、友達と交流しながら考えられるようにする。 ◇全体で交流することで、いろいろな説明の順序があることに気づけるようにする。

(3) 評価

【思①】	「読むこと」において、相手に伝わるように、選んだ遊びの説明の仕方を考えることができる。(ノート・ロイロノート)
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
グループで調べた遊びについて、相手に伝わる説明になるよう順序や言葉を考えてメモを並び替えている。 「〇〇より△△が先にあると、伝わりやすいね」	

(4) 板書計画

【学しゅうのながれ】 ① 今までのかくにん ② メモのならびかえ (一人) ③ メモのならびかえ (グループ) ④ ぜん体交りゅう ⑤ ふりかえり	 わけ	 わけ	 わけ	めあて あい手に分かりやすいせつ明のじゅんじよを考えよう。 おにごっこ (十一時間目)
	 わけ	 わけ	 わけ	

第3学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 筒井 綾香

1 日 時 令和5年2月7日(火) 第6校時(14:30～15:15)

2 学年・組 第3学年2組(24名)

3 単元名 伝えたいことを、理由をあげて話そう
(教材名) 『わたしたちの学校じまん』

4 単元の目標

- ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができるようにする。
- ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるようにする。
- ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができるようにする。
- 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話することができるようにする。
- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。
- 進んで言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し発表しようとするようにする。

5 単元の評価規準

知・技	①相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。((1)イ) ②丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら話している。((1)キ) ③考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)
思・判・表	①「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。(A(1)イ) ②話すこと・聞くことにおいて、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ)
態	① 進んで言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意し、学習の見通しをもって、グループで練習し発表しようとしている。

6 単元について

【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
イ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。
- (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

A 話すこと・聞くこと

- (1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
ウ 互いの考えをつたえるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。

- 「出会う」
 - ・これまでの話し合いやグループ発表をした経験を振り返り、学校の自慢したいところはどこかを考えて発表することを子どもに意識づけるようにする。
 - ・発表を聞いてどんな感想をもったか振り返りまで行うことを見通す。
- 「追究・表現する」
 - ・次のような順に、指導事項を指導する。
 - ④ 自慢したいことを決める。
 - ⑤ 自慢したい理由を考える。
 - ⑥ 発表に必要な資料を集める。
 - ⑦ 組み立てを考えて発表原稿を作る。
 - ⑧ グループで発表の仕方を確認し、練習する。
 - ⑨ 発表会を行う。
- 「生かす」
 - ・話し合いや発表の練習で助言し合ったことを思い出し、よかったところを伝え合う。いいなと思うところを見つけることで、これまでの発表練習や本番までの過程を意識した伝え合いの場とする。
 - ・今後、他の授業や発表する場面で生かせるようにする。
 - ・一年生への発表後、すべての人へ発表するため学校ホームページのアップを目指す。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
・「もっと知りたい、友だちのこと」の単元において、どんな質問をしたらよいのか、どんな話の聞き方がよいのか理解することができた。 (知識及び技能)	・会話が一方的にならないようリアクションを返したり質問や感想を伝えたりすることで、さらに内容が深まることができるようにする。
・「山小屋で三日間すごすなら」の単元において、お互いの考えを認め合い、全員で意見を出し合うことはできていた。しかし出された考えを仲間分けしたり整理したりするのは十分と言えない児童もいる。(思考力・判断力・表現力等)	・意見が違っても理由が同じであれば同じ仲間分けにするなど、整理の仕方を確認する。
・「はんで意見をまとめよう」の単元において、自分が選んだ本を一年生に紹介するために好きなところやおもしろいところを見つけ、意欲的に伝えようとする姿が見られた。 (学びに向かう力・人間性等)	・はんで意見を出し合うが、他人任せにならないように、「自分だったらどんな自慢をするか」を考えられるようにする。

4 指導計画 【指導のポイント 手立て 配慮事項 他他教科との関連 個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
1	○学習の見通しをもつ。 ◆自分の学校の自慢したいところやその理由を出し合おう。 ・わたしの学校の自慢は、おはなしわくわくが毎週あること。理由は、給食時間にいろんな楽しいお話をきくことができるから。 【学習課題】伝えたいことを理由をあげて話し、わたしたちの学校じまんをしよう。 ○学習計画を立てる。 ◆これまでの話し合いの活動で学習したことを思い出し、「つたえたいことを理由をあげて話し、わたしたちの学校じまんをしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てよう。 ・学校の自慢したいこと。 ・組立てを考える。 ・発表原稿を書く。	㊦P4 「三年生の国語の学びを見わたそう」を参照にする。 ㊦P114 の「学習の進め方」を参照し、学習計画を立てるようにする。	態①

追究・表現する	2	○自慢したいことをたくさんあげる。 ◆学校の自慢したいことをたくさん考えよう。 - わたしの学校の自慢は、おはなしわくわくが毎週あること。 - わたしの学校の自慢は、剣鉦という部活があること。 - わたしの学校の自慢は、ビオトープがきれいなこと。	発表する相手や目的を確かめ、それに合った内容にするようにする。	思①
	3	○グループで自慢したいことについて、理由を考える。 ◆グループで自慢したいことを決め、その理由をたくさん考えよう。 - わたしの学校の自慢は、おはなしわくわくに決めよう。 - 毎週水曜日、給食の時間に本の読み聞かせを放送してもらえる。 - 低学年の時は休み時間にも読み聞かせをしてくれたよ。	自慢したい理由を明確にするようにする。	知③
	4	○一年生に自慢したい理由を3つ程度考える。 ◆自慢したい理由を出し合った中から特に伝えたいことを3つに決めよう。 一年生に、学校の自慢を知らせるので、わかりやすい理由がいいと思います。	自慢したいことと、その理由をよりよく伝えるための資料を準備するようにする。	思①
	5	○発表に必要な資料を集める。 ◆発表で見せる資料を集めよう。 今までのおはなしわくわくの活動している様子の写真を見せるとよい。	ICT PowerPoint やロイロノート等に、写真などの資料を収集することも考えられる。	思①
	6	○組立てを考えて、発表原稿を作る。 ◆組立てを考えて、発表原稿を作ろう。 わたしが自慢したいのは、「おはなしわくわく」。「おはなしわくわく」は毎週1回。	P119の「発表のれい」を参考に、「はじめ」「中」「終わり」の組立てを考えるようにする。 役割分担をして、発表原稿を作るようにする。 自分の役割を意識し、聞き手の立場になって、伝え方を工夫するようにする。 音声CDや指導者用デジタル教科書で話し方の例を聞いたり、二次元コードの動画を見たりして、話し方の工夫を確認するようにする。 話し方の工夫を意識しながら、練習するようにする。 発表の内容や発表のしかたについて助言し合い、気付いたことを発表原稿に書き入れるようにする。	思② 態①
	7	○グループで発表の仕方を確認し、練習をする。 ◆グループで発表の仕方を確かめ、練習しよう。 - 伝えたいことは、はっきり大きな声で。 - 原稿を見ると、早口になって伝わりにくいので、原稿を見ず、相手を見て話せるようにしよう。	話し方の工夫を意識しながら、練習するようにする。 発表の内容や発表のしかたについて助言し合い、気付いたことを発表原稿に書き入れるようにする。	知① 知②
	8	○発表会をする。 ◆発表会をしよう。 - はじめ・・・自慢したいものとその説明 - 中・・・自慢したい理由 - 終わり・・・自慢したいものの繰り返しとまとめ	会場の広さや聞き手、発表の内容に合わせて、声の強弱や速さ、間の取り方、言葉づかいを工夫するようにする。	
	9	○学習を振り返る。 ◆話し合いや発表の練習で助言し合ったことを思い出し、よかったところを伝え合おう。 - 自慢したいものを、初めにはっきり話していたので、話の中心が分かりやすかった。 - 一年生でも分かるようにゆっくり話していた。 ○単元における学びを振り返る。	「ふりかえろう」で単元の学びを振り返るようにする。 「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を確認するようにする。 総合的な学習の時間などの発表に生かすようにする。 一年生への発表後全ての人へ発表するため学校ホームページへのアップを目指す。	態①

記録に残す主な評価場面（例）

- ・思① 「組立てを考えた発表原稿」【6時間目】
- ・態① 「見通しをもって、グループで練習している姿」【7時間目】
- ・知① 「言葉の抑揚や強弱などに気を付けて発表している姿」【8時間目】
- ・併せて確認（ペーパー）テストを実施し、評価資料として活用する。

*授業改善に向けては、単元における毎時間の子どもの様子やノートなどの見取りを行うことが大切です。

8 本時について（3／9）

（1）目標

考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。【知③】

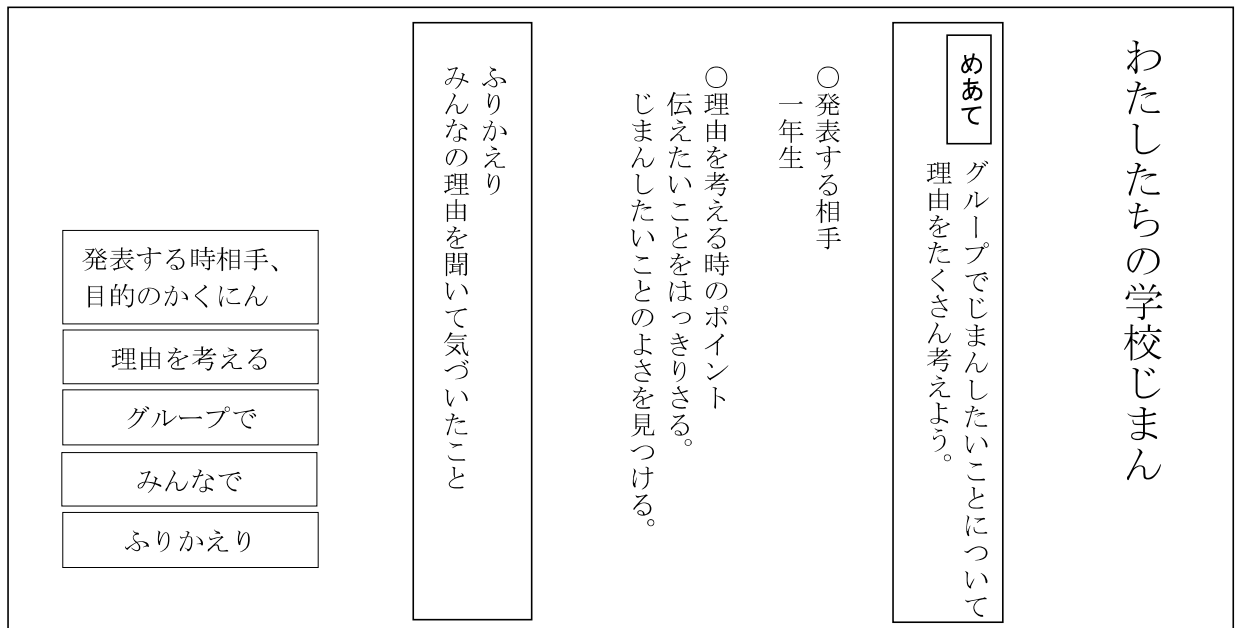
（2）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 ＊留意点 ㊦個別支援
○学習のめあてと流れを確かめる。	
グループでじまんしたいことについて、理由をたくさん考えよう。	
◆発表する相手や理由を考える時のポイントを確認しておきましょう。 ・一年生に伝える。 ・理由をはっきりさせながらたくさん考える。 ◆自慢したいことの理由を考えましょう。 ◆考えをグループでシンキングツールに集めます。グループで共有してまとめましょう。 ○シンキングツールのクラゲチャートを使ってまとめる。 ◆今できているところまで提出しましょう。紙でしたグループは写真を撮ってロイロノートで提出しましょう。 ○使ったクラゲチャートや紙を提出する。 ◆提出されたクラゲチャートを見て他にも理由がないか考えましょう。 ○本時の学習を振り返る。 ◆今日の学習を振り返りましょう。	* 自分なりの理由をはっきりさせながら考えることを伝える。 * 次の時間に意見を3つ程度絞るため、この時間ではたくさん理由を出すことを伝える。 * 後でクラゲチャートを使うため、カードや付箋は大きな文字で書き、最後に記名することを伝える。 ◇前時までの子どもたちの考えをもとに、自慢したいことが似ている人を集めたグループ作りをしておく。 * ロイロノートでも、紙と付箋でもどちらを使ってもよいことを伝える。 ◇ロイロノートを活用してどんな意見や理由が出てきたのかを共有することにより、ほかのグループの子が違う視点から理由を考え、新しい理由がないか、考えられるようにする。 また、提出する（紙の場合は写真を撮ってから提出する）ことで話し合いの進み具合を共有することができるようにする。【ICT活用〈図1〉】 * 振り返る視点を示す。

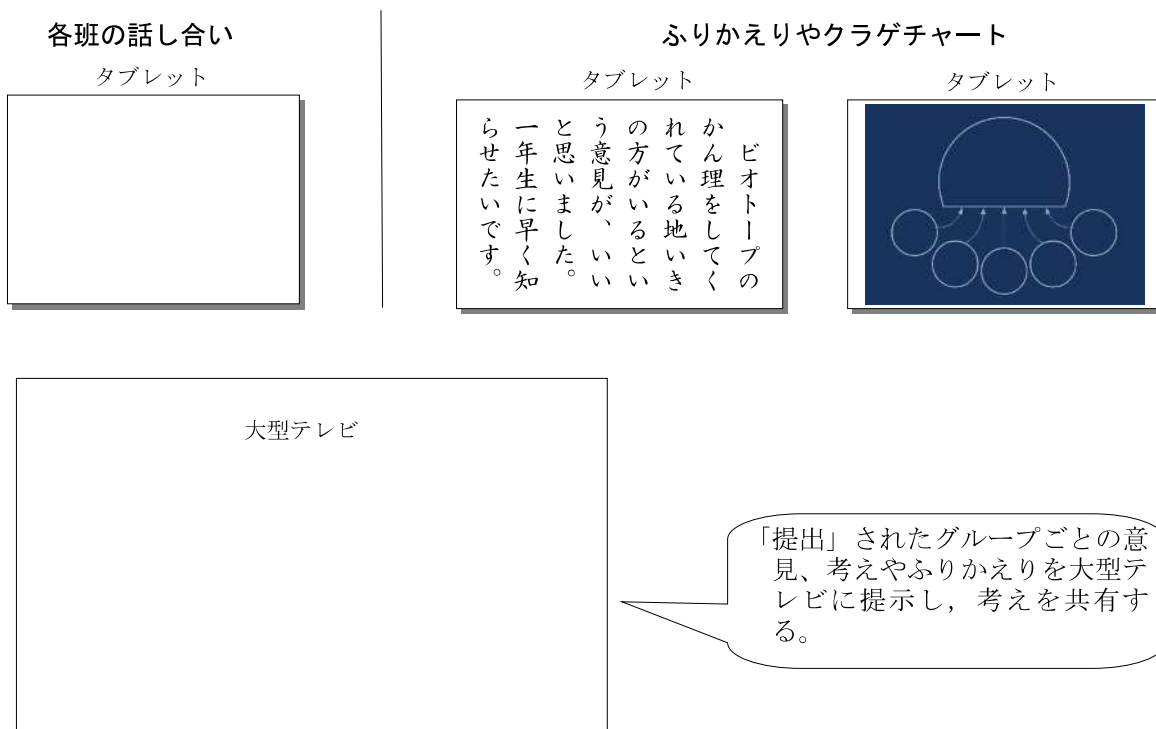
（3）評価

【知③】	「話すこと」において、自慢したいことの理由をはっきりさせて具体的に話すことができる。 (付箋・ロイロノート)
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
～だからこんな理由がいいと思う。 この意見は似ているから同じ仲間分けができるね。 ～よりも〇〇の方が伝わりやすいと思う。	

(4) 板書計画



(5) ICT 活用〈図1〉



第5学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 池永 昌堅

1 日 時 令和5年2月7日(火) 第5校時(14:30～15:15)

2 学年・組 第5学年2組(21名)

3 単元名 伝わる表現を選ぼう

4 単元の目標

- ◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができるようにする。(知・技(1)オ)
- 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができるようにする。(知・技(1)ア)
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。(思・判・表B(1)ウ)
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるようにする。(思・判・表B(1)オ)
- 積極的に、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って、手紙を書こうとすることができるようにする。

5 単元の評価規準

知・技	①言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。((1)ア) ②語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ)
思・判・表	①「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。(B(1)ウ) ②「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(B(1)オ)
態	①積極的に、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って、手紙を書こうとしている。

6 単元について

【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。

オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

〔思考力、判断力、表現力等〕

書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

- この指導事項は、言葉が果たす他者との良好な関係をつくる働きや特徴に気付くために、今回の改訂で新設したものである。挨拶などの日常会話において見られるように、言葉には、話し手と聞き手(送り手と受け手)の間に好ましい関係を築き、継続させる働きがある。このような言葉の働きに気付かせることが、中学校第2学年の「相手の行動を促す働きがあることに気付くこと」へと発展していく。

- この指導事項は〔知識及び技能〕や〔思考力、判断力、表現力等〕に示す様々な内容に関連するが、例えば、〔知識及び技能〕の(1)オの「語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと」との関連を図り、指導の効果を高めることが考えられる。
- 語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語彙の質を高めることである。
- 語感や言葉の使い方に対する感覚とは、言葉や文、文章について、その正しさや適切さを判断したり、美しさ、柔らかさ、リズムなどを感じ取ったりする感覚のことである。
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとは、書く目的や意図を明確にした上で、詳しく書く必要がある場合や簡単に書いた方が効果的である場合などを判断しながら書き表し方を工夫することである。イの指導事項の「構成や展開を考える」過程において、文章のどこを詳しく、どこを簡単に書けば効果的かをあらかじめ検討しておくことも考えられる。
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えるとは、ア、イ、ウ、エの指導事項を観点に、文や文章を推敲することである。第5学年及び第6学年においては、文章全体を見たときに、内容や表現に一貫性があるか、目的や意図に照らして適切な構成や記述になっているか、事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方、図表やグラフなどの用い方は適切かといったことなどが推敲の観点となる。

【単元を通した言語活動】

- ・「2年生に進級する1年生に対して手紙を書く活動」を設定し、自分が書いた手紙を「相手が知っている言葉を使う」「文末表現を書きかえる」「書きかえてよい言葉と、よくない言葉を考える」という観点で文章を推敲する。

【単元構想】

○「出会う」

- ・単元の終わりには2年生に進級する1年生に手紙を書くことを伝えることで、児童が学びに対する必然性を感じられたり、学習への意欲を高めたりすることができるようにする。
- ・これまでの生活経験から、例文中の1年生にとって難しいと思われる言葉を探す。
- ・指導事項をふまえ、「相手が知っている言葉を使う」「文末表現を書きかえる」「書きかえてよい言葉と、よくない言葉を考える」という観点で書きかえればよいことを押さえるようにする。

○「追究・表現する」

- ・次のような順に、指導事項を指導する。
 - ◆「意図に応じた言葉を選ぼう」について
 - ⑩ 挿絵を1枚ずつ見せながら、何が原因でこのようなすれ違いが起こったのかを話し合う。
 - ⑪ 言葉にして話したり書いたりするときは、自分の伝えたいことが正確に伝わるかどうか、相手の立場になって考えてみる必要があることを伝える。
 - ◆「1年生への手紙を書く」について
 - ① 教科書p. 205の3つのポイントを押さえる。
 - ② 3つのポイントをもとに手紙の下書きをし、次時の推敲の準備をする。

○「生かす」

- ・前時に書いた手紙を読み合う。
- ・交流で推敲しあう時には3つのポイントを掲示し、それをもとに話し合い活動ができるようにする。
- ・交流を通して様々な意見にふれることで、今後相手意識をもって話したり書いたりすることができるようにする。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
・「敬語」の単元において、相手に応じて言葉や語尾を変える必然性を感じるとともに、適切な表現を選ぼうとしていた。 (知識及び技能)	・「敬語」の学習を想起したり、教科書の場面を日常生活と結び付けたり、相手に応じて言葉遣いを変える必然性について理解することができるようにする。
・「あなたは、どう考える」の単元において、意見文の構成や読み手のことを意識しながら文章を書いたが、自分の意見に説得力をもたせる根拠が不十分な児童もいた。 (思考力・判断力・表現力)	・どう書き換えてよいか分からない場合は国語辞典を使ってもよいことを伝えることで、説得力のある意見をもちながら、文を書きなおよす話し合いができるようにする。
・「どちらを選びますか」の単元において、1つの事象に対して、様々な角度からそれを考えることを楽しみ、話し合っていた。 (学びに向かう力・人間性等)	・文章を見た時の相手の立場を想像させることで、相手に合わせた言葉を選ぶことができるようにする。

4 指導計画 【指導のポイント 手立て ! 配慮事項 他教科との関連 個別支援】

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価観点
出会う	1	○例文を読み、1年生と仲良くなれるか考える。 ・難しい言葉がたくさんあるよ。 ・これじゃ伝えたいことが上手く伝わらないんじゃないかな。 【学習課題】言葉や表現に気を付けて、1年生に手紙を書こう。 ○P202「相手に応じた言葉を選ぼう」を読み、相手に応じた言葉の選び方について考える。 ◆1年生に向けて書くとしたらどのように書けばよいだろう。 ・各自→それぞれ、一人ひとり ・容器→虫かご、入れ物 ・文末はもっと柔らかい表現のほうがいいね。 ・校外学習と遠足は似ているけれど意味が違うね。虫かごもよくないかも。	㊦国語辞典やタブレットを使って、別の言葉に変えてよいか確認する。 ㊦1年生にとってどの言葉が難しいと思われるかを一緒に想像し、線を引く。	思①
	2	○自分の伝えたいことが相手に理解してもらえなかったり、誤って受け取ってもらえなかったりした経験を話し合う。 ○P204「意図に応じた言葉を選ぼう」を読み、意図に応じた言葉の選び方について考える。 ◆自分の思った通りに伝えるために大切なことは何か考えよう。 ・教科書の例だと「独特」という言葉の捉え方が違っているね。女の子はよい意味で使っているけれど、男の子は悪く捉えているよ。自分がどうしたいのか意図を明確にし、相手の立場になって考えてもっと分かりやすい言葉を使うのがいいね。 ○手紙の下書きをする。	ICT 教科書の例を拡大して掲示し、どのようにすればよかったか考えられるようにする。	知②
生かす	3	○言葉や表現に気を付けて、手紙を推敲する。 ◆2年生になる1年生に向けて応援する手紙を推敲しよう。 ・相手「1年生」 ・意図「たてわり活動で感じた1年生の成長を伝える」 「もうすぐ進級してお兄さんお姉さんになる1年生を応援する」 ○単元における学びを振り返る。	㊦実際に関わったことのある1年生を相手にすることで、相手意識と目的意識が明確になるようにする。	知① 思② 態①
追究・表現する				

記録に残す主な評価場面（例）

- ・思①「1年生に伝わるように書き換えたりしたロイロノート」【1時間目】
- ・知②「意図に応じた言葉の選び方について考えたことを記述したノート」【2時間目】
- ・知①思②「1年生に向けて書いた手紙」【3時間目】
- ・態①「手紙を書こうとしている姿」【3時間目】

*授業改善に向けては、単元における毎時間の子どもの様子やノートなどの見取りを行うことが大切です。

8 本時について（1／3）

（1）目標

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。（思・判・表B(1)ウ）

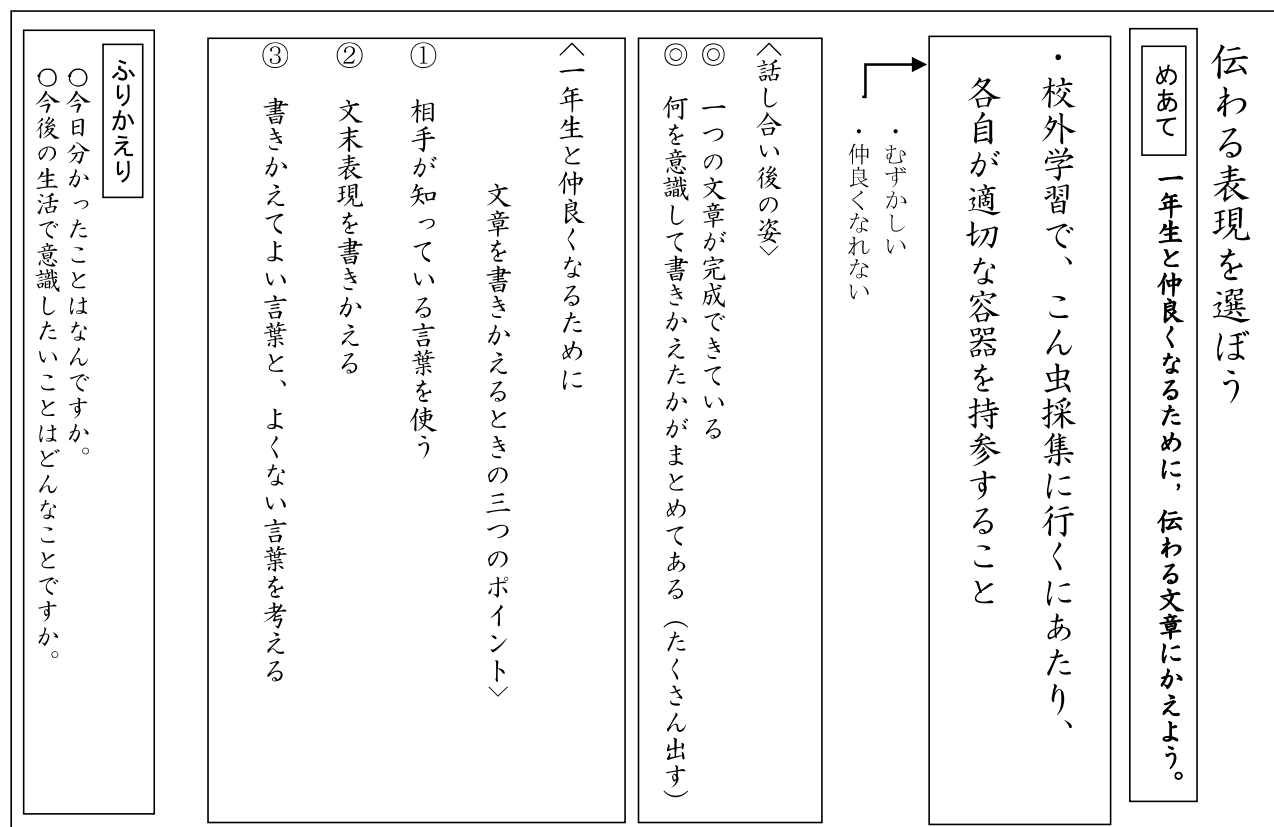
（2）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
○学習のめあてと流れを確かめる。 ◆この文章だと1年生に伝わりづらいですね。どのように書き換えたら仲良くなれるでしょうか。	*単元の終わりに1年生に手紙を書くことを伝えることで、学習への必然性をもたせる。 ◇劇で演じるなどして、本時のめあてについて理解し、学習の見通しがもてるようにする。
1年生と仲良くなるために、伝わる文章にかえよう。	
○1年生に伝わるように文章を書き換える。 ◆まずは一人で考えてみましょう。 ・「昆虫採集」って分かるかな。 ・「各自」ってどう書き換えるのだろう。 ・「持参すること」は「持ってきました」に書き換えよう。 ・「校外学習」は「遠足」に書き換えてもよいのかな。 ○考えたことをもとに話し合う。 ◆一人で考えたことをもとに、班で話し合ってみましょう。話し合った結果①1年生に伝わる文章を一つ②自分の班は何を意識して書き換えたか、が発表できるようにしましょう。②はたくさん出し合いました。 ・「昆虫採集」は「虫とり」に変えよう。 ・「各自」は「それぞれ」に変えよう。 ・難しいと思う言葉は簡単な言葉に書き換えたほうがいいんじゃないかな。	*ロイロノートやノートを使うことにより、この後の話し合い活動をしやすくする。 ㊦書き換えることが難しい児童には、1年生にとってどの言葉が難しいと思われるかを一緒に想像し、線を引いておくことで、この後の話し合いに参加できるようにする。 *書き換える言葉を調べるのに国語辞典を使ってもよいことを伝える。 ◇話し合い後の姿を示すことにより、児童が何について話し合えばよいのかが分かるようにする。 *話し合うときは課題に対してみんなで協力させるために、タブレットを使う場合は1台で話し合いをするように指示する。 ◇ロイロノートやノートを活用して全員の考え（見つけた言葉）を共有することにより、ほかの友達の見つけた言葉やそこから考えたり想像したりしたことを知ることができるようにする。【ICT活用〈図1〉】
○解答画面を共有して見比べる。 ◆解答画面を見て、気づいたことを発表しましょう。 ○教科書を使ってまとめる。 ◆教科書P.203を使って、ポイントをまとめてみましょう。 ◆班での話し合いやポイントを意識して、自分の力で文章を書き換えてみましょう。 ○本時の振り返りをする。 ◆今日の学習を振り返りましょう。今日分かったことはなんですか。今後の生活で意識したいことはどんなことですか。	◇班で話し合ったことをクラスで共有することにより、様々な意見に触れることができるようにする。 *教科書を使って、相手に正しく伝えるために文章を書き換えるときの3つのポイントをまとめる。 *振り返る視点を示す。

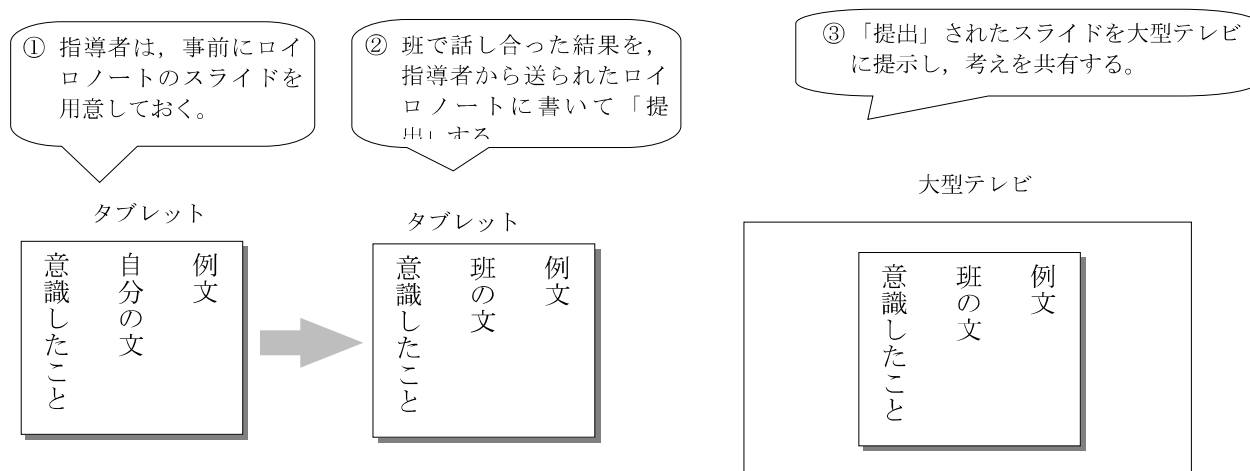
(3) 評価

【思①】	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。(B(1)ウ)
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
・1年生にとって、この言葉は難しいから、書き換えたほうがいいんじゃないかな。 ・「すること」は厳しい感じがするから「しましょう」とかにしたほうがいいんじゃないかな。 ・1年生に手紙を書くときは、今日習った3つのポイントを意識して書こうと思いました。	

(4) 板書計画



(5) ICT 活用〈図1〉



校内研究実践授業 指導案 & 実践報告

第4学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 角川 哲平

1 日 時 令和4年 6月30日(木) 第5校時(13:25～14:10)

2 学年・組 第4学年2組(19名)

3 単元名 新聞を作ろう

4 単元の目標

- ◎相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるようにする。(思・判・表B(1)ア)
- ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができるようにする。(思・判・表B(1)イ)
- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができるようにする。(知・技(2)イ)
- 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができるようにする。(思・判・表B(1)エ)
- 進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとすることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

5 単元の評価規準

○知識・技能…知

- ①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。((2)イ)

○思考・判断・表現…思

- ①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
- ②「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)
- ③「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)

○主体的に学習に取り組む態度…態

- ①進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとしている。

6 単元について

【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

〔思考力、判断力、表現力等〕

B 書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮すること。

【単元を通した言語活動】

本単元では、グループで役割分担して1枚の新聞を作成する。よって、新聞の大きなテーマを決める際に、話し合い判断する力が求められる。話し合い、判断するときには、合意形成し意欲的な活動にする必要がある。

本単元では、「クラスのみんなにクラスメイトのよさが伝わる学級新聞をつくる」と設定し、グループで一つの新聞を作る。相手や目的に応じて伝えたいことを明確にして取材活動を行い、伝えたい内容が伝わるように文章の構成を考えて学級新聞作りに取り組む。

学級新聞は、児童が読み手の顔を思いうかべることが容易である。さらに、掲載内容を自ら決めることで「伝えたい」という思いを強く持つことができ、児童が意欲的に取り組める活動である。そのため、相手や目

的を意識して集めた情報を取捨選択することが予想される。よって、相手や目的を意識して、集めた材料を比較分類する力を育成するにあたってふさわしい言語活動であると考ええる。

【単元構想】

○「出会う」

- ・実際の新聞を比べて読むことで、児童が自ら新聞の構成の特徴を捉えられるようにする。また、それらの特徴を生かして自分たちの新聞を作る計画を立て、意欲が高まるようにする。
- ・伝える相手として「クラスメイト」を設定したり、新聞記事の内容を自分たちで話し合っ

○「追究・表現する」

相手や目的を明確にすることで「事実を分かりやすく報告する学級新聞を作るために学ぼう」という必然性を持たせて指導事項を指導する。

- ・どのような新聞を作るかについて話し合う時には、新聞を読む相手と目的を明確にしてから取り組むようにし、グループでの合意形成が円滑に行えるように配慮する。
- ・教材文を読み、新聞の特徴や作り方の手順、割り付けの工夫について確かめ、グループで役割分担できるようにする。
- ・新聞のテーマに沿って必要な情報を得るために、どのように取材するかを話し合うようにする。
- ・グループで互いの意見や考えを一つにまとめるために、互いにおおむね満足できる新聞づくりを目指すように指導し、合意形成ができるようにする。
- ・ロイロノートを活用したアンケート作成の手順を知り、手に入れた情報に合わせて質問を考えられるようにする。
- ・アンケート結果から、割り付けや見出しについて考え、伝えたい情報を取捨選択できるようにする。
- ・「聞き取りメモのくふう」のノートや壁面掲示を振り返って学習したことを思い出すことで、大事なことを落とさずにインタビューなどの内容をメモに取ることができるようにする。
- ・「要約するとき」のノートや教材分等を振り返って学習したことを思い出すことで、取材したことを分量に合わせて分かりやすく要約することができるようにする。
- ・「アップとルーズ」の学びをふり返って、図表やグラフ、写真があることでより効果的に自分の考えを伝えられることに気付けるようにする。また、引用は、文章表現や情報だけに限らず、図表やグラフ、絵や写真なども含むことを指導する。
- ・自分が書いた文章をグループで共有し説得力があるところについて、意見や感想を交流する。
- ・各自が書いた記事をグループ内で読み合い、意見や感想を交流する時間を設定することで、説得力のある文章を書くために大切なことに気がつけるようにする。

○「生かす」

- ・取材の仕方や新聞の書き方について感想を伝え合ったり振り返ったりすることで、情報収集と記述の両面から事実を分かりやすく伝えるために大切なことを確かめることができるようにする。
- ・資料を用いた時の効果について考えることで、これから自分の考えを伝える文章を書くときには図やグラフを積極的に使うなど書き表し方を工夫しようという意欲をはぐくむ。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
【知識及び技能】 ○書くことについては、毎朝の課題作文に継続的に取り組んでおり、8分で200文字以上書くことができる児童が多く在籍している。しかし、5W1Hを整えたり、文章構成を組み立てたりすることが苦手な児童が多い。 ○GIGA 端末を使用するにあたって、ローマ字を使ったタイピングをすることができる。	今回の学習では新聞を作成するにあたって、グループで交流しながら活動する。よって、児童同士助言し合いながら進めることができる。 文章を書くことが苦手な児童に机間巡視の際に声掛けをする。
【思考力・判断力・表現力等】 ○「アップとルーズで伝えよう」の単元では筆者の思いや考えに気づき、文章の中心を見つけることができていた。	今回の学習では読み手を想像して質問を考えたり、文章を書いたりすることから、グループの話し合い活動を経て交流することによって、文章や質問を客観視

○「白いぼうし」の単元では、作中の出来事に対して問いを持つことができたが、その答えを文中から結びつけることにおいては十分といえない児童もいる。 ○話し合い活動については、私語が増える児童ややめた言葉遣いが難しくなる児童が多い。	し、見直す機会を作る。
【学びに向かう力・人間性等】 ○三年「山小屋で三日間すごすなら」の単元で、何を持っていくかを自分で考え、それをまとめる話し合い活動では持ち寄った意見を出し、お互いに譲歩しながら考えをまとめることができた。 ○三年「はんで意見をまとめよう」の単元では、「一年生へ絵本の読み聞かせをする」と相手意識を持つと、進んで話し合いの進め方を確認し、司会などの役割をたてて考えをまとめようとすることができた。一方で、落ち着いて話し合うことが難しい児童もいた。	学級新聞の内容を絞らずに取り組むことによって発信したいテーマについて意欲的に学習に向かう姿勢を維持させる。また、課題に取り組む時に、誰に向けた新聞にするかを決めさせることによって、相手意識を持ち意欲的に取り組むことができる。

7. 指導計画【指導のポイント ④手立て ⑤配慮事項 ⑥他教科等との関連 ⑦個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	評価 態①
出 会 う	1 ○学習の見通しをもつ。 ◆新聞の特徴を見付けよう。 ・新聞名、発行日、発行者が書かれているね。 ・図や写真があつて分かりやすい。 ・見出しを読むだけで、何の記事か分かるよ。 ・いろいろな話題が載っているね。 【学習課題】事実を分かりやすく報告する学級新聞を作ろう。 ○学習計画を立てる。 ◆新聞を作るために、どのようなことが必要な。 ・どのような新聞を作るかを決める必要がある。 ・記事を書くために、調べる必要がある。 ・どこに何を書くのかを決める必要がある。 ・記事を書いたり、写真や図を用意したりする必要がある。	
追 究 ・ 表 現 す る	2 ○どのような新聞を作るかについて話し合う。 ◆グループで話し合って、テーマと相手を決めよう。 ・学級新聞だから、クラスの出来事をテーマにしたらどうかな。 ・クラスのいいところも紹介したいね。 ・クラスのみんなにインタビューをしてみてもいいね。	思①
	3 ○取材には、どのような方法があるのかを話し合う。 ◆どのように取材をしたらよいのかな。 ・実際に見て調べたり、図書館やインターネットで調べたりしたらよい。 ・インタビューをしたり、アンケート調査をしたりしたらよい。	思① 知①
	4 ○出来事や事柄を正しく伝えるために、どの取材の仕方がよいかを考え、取材をする。 5 ◆どの取材の仕方がよいのかを考えて、取材をしよう。 ・クラスのみんながこのクラスの何をどう思っているのかが知りたいから、アンケートを取ろう。 ・担任の先生はクラスの何をどう思っているのだろう。インタビューしてみよう。	思①
	6 ○教材文を読み、割り付けの工夫について確かめる。 ◆どのように新聞を作っていきたいのかを確かめよう。 ・記事を書く前に、「わり付け」をする必要があるのだな。 ・記事の内容によって、記事を入れる場所を決めるのだな。	思①

	7 本時	○取材メモをもとに、割り付けを考える。 ◆グループで話し合って、割り付けを考えよう。 ・一番のニュースだから、見出しも大きめに書こう。 ・この記事は、表も入れたいから、もう少し場所がほしいな。	思② 知①
	8	○取材メモを基に、記事を書く。	思③
	9	◆取材メモを基に、記事を書こう。 ・読みたくなるような見出しを付けよう。 ・読む人が分かるように、もう少し詳しく説明をした方がいいね。	
	10	○記事を推敲し、清書して、仕上げる。	
	11	◆記事をグループで読み合って確かめよう。 ・文字の間違いはないかな。 ・アンケート結果は正しく書けているかな。	
生 か す	12	○完成した学級新聞を読み合い、感想を伝え合う。	
	13	◆完成した新聞を読み合い、書き方や内容について感想を伝え合おう。 ・アップとルーズの写真を使い分けていて、分かりやすかった。 ・初めて知ったことが載っていて、面白かった。 ◆取材の仕方や新聞の書き方について振り返ろう。 ・本やインターネットで調べるだけではなくて、インタビューをしたりアンケートをとったりして取材する方法がある。 ・事実を分かりやすく伝えるには、伝えたいことの内容をはっきりさせるとよい。 ○単元における学びを振り返る。	

記録に残す主な評価場面

- ・ 態①「新聞の特徴を見付けている姿や特徴を書いたノート」【1時間目】
- ・ 知①「取材の方法をまとめたロイロノート」【4時間目】
- ・ 思①「取材メモをもとに取捨選択した新聞の割り付け」【7時間目】

8 本時について（7／13）

（1）目標

相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるようにする。（思・判・表B(1)ア）

展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 ＊留意点 ㊦個別支援
○本時の学習のめあてを確かめる	◇本時の学習の流れを確認することで、見通しをもって学習に臨めるようにする。
取材メモをもとに、読みたくなるわりつけを考えよう。	
○割り付けを考えるために、目的を確認させる。 ◆みんなだったら、どんな新聞を読みたくなりますか。 ・いろいろなことを知れる新聞 ・新しいことが知れる新聞 ・見やすい新聞	*割り付けを円滑に決めるために、どのような新聞が魅力的かを話し合い、イメージを持たせる。

◆そのためには、どんなトップ記事が必要ですか。 ・おもしろいトップ記事 ・意外なトップ記事 ・みんなが驚くトップ記事 ○新聞の割り付けを決めるためにグループで話し合う。 ◆割り付けをグループで話し合いましょう ・(相手)にとって、この事実が意外だと思うからこの記事を大きくしたい ・この記事をトップ記事にしよう ・(相手)が知っているかもしれないから、もう少し小さくしよう。 ○本時の学習を振り返り、次時の内容を知る。	*第3時で決めた相手を再確認し、話し合いの基準を決める。 *魅力的な新聞にするために、お互いの良い所を認め合うことを指導する。 *新聞の割り付けを決めるためのメモを取るために、白紙のA3用紙をグループに渡す。 ◇見通しを持つために、話し合い項目の順序を示す。 ①「トップ記事を考える」 ②「事実を分かりやすく示すための記事の大きさを決める」 ③「写真や図、表の大きさを決める」 ④「新聞の名前を決める」 ㊤声掛けをすることによって、自分の思いを話し合い活動に参加できるようにする。 ◇学習を振り返り、次時の内容を知ることによって、見通しを持たせる。
---	--

(3) 評価

【思⑤】	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(・話し合い活動・割り付け)
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
グループでのテーマに沿って自分の考えを発表し、どんな割り付けにするのかを話し合っている。	

(4) 板書計画

		めあて	新聞を作ろう
		④ 「新聞の名前を決める」	② 「トップ記事を考える」
		③ 「写真や図、表の大きさを決める」	② 「事実を分かりやすく示すための記事の大きさを決める」



読みたくなる割付けを考える (0630)

4年2組 角川学級 国語科

自分と意見が違ってても否定せずに、まずは受け止め、話し合いで解決できるようにする。そして、読者の立場にたって考え、どの記事が一番トップ記事にふさわしいのかを決める。

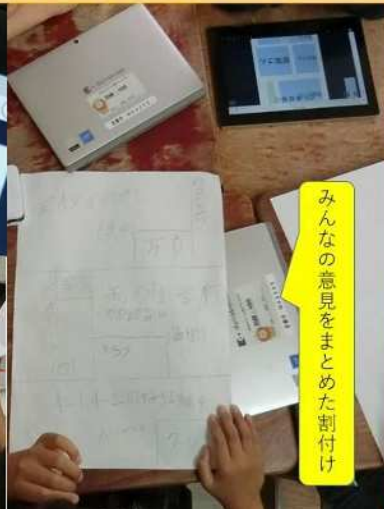
読んでほしい記事を書くために、目的に応じた手段（インタビューやWeb情報）から記事を集める。



目的に応じた情報収集



互いの意見を尊重した話し合い



みんなの意見をまとめた割付け

相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるようになる。

総合的な学習の時間「京都の魅力を発信しよう」指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 小林 歩

- 1 日 時 令和4年9月28日（水） 第5校時（13:40～14:25）
- 2 学年・組 第6学年1組（20名）
- 3 単 元 名 「京都の魅力を発信しよう」
- 4 単元の目標

京都の歴史・伝統文化・遺産を調べることを通して、京都には伝え続けるべき文化がたくさんあることに気づく。興味を持った文化の魅力を劇化して発信することで、表現の難しさや楽しさを考えるとともに、お互いの関わりの中で意見を高め合える関係性にも気づき、自分の姿や普段の生活について改めて考え、生かしていくことができる。

5 内容と単元の評価規準

【探究課題】京都の魅力発見 ・ 劇化して表現しよう				
育成を目指す資質・能力	探究課題の解決を通して	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
		京都にはたくさんの伝統文化や遺産が残されており、それに関わる人々はそれぞれの思いや願いなどをもって伝統をつないでいるかを知る。	伝統をつないでいる方の話や体験から得た情報から課題を設定する。また、どのように表現すれば相手に伝わりやすいか、興味を持たせることが出来るかを考える。	遠い昔から繋がれたきた文化をつないでいく一人として自己の生き方を見つめ直す。また、自らの生活において自他を調整することを通して将来の生き方に生かしていこうとする。
単元の評価規準	観点 過程	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	発見過程／追究過程	①複数の伝統文化について触れ、長い時間受け継がれてきた良さを感じている。 ②複数の文化財や遺産を見学し、その魅力や歴史、受け継いできた人の努力について知ることが出来る。	①伝統文化や遺産の良さに気づき、作られた過程や歴史から疑問や思いを持ち、課題を設定している。 ②劇化して発信するために、どのようなストーリーを展開していくか考えられる。	①複数の選択肢の中から自分が興味を持つ課題を積極的に設定できる。 ②グループ活動での話し合いで、自分の考えを発信したり、相手の考えを尊重したりできる。
	提案過程／熟成過程／表現過程	③たくさんある魅力の中から、伝えたい内容を精選して相手意識をもった動画になっているかに気づけている。 ④視聴した感想を受け、より伝わりやすくするには何をすればよいかを理解している。 ⑤完成した動画を鑑賞し、自分が伝えたいものをどのように編集すれば、相手に伝わりやすくなるかを知る。	③動画づくりの過程で自分たちが伝えたい魅力が、相手意識をもって表現できているか確かめられている。 ④視聴した感想を受け、より伝わりやすくするにはどのようにすればよいかを考えられている。 ⑤全ての動画を編集し、伝えたい事柄が、伝わりやすい順序や表現が出来ているかを考え、作成できている。	③動画づくりの過程で、自分たちの表現が伝わりやすいものかを探ろうとしている。 ④視聴の感想から、課題の解決方法を粘り強く探ろうとしている。 ⑤学習で得た表現の知識・技能を生活の場面や今後の学習で生かそうとしている。

6 単元について

【探究課題について】

社会科で歴史の学習がはじまり、自分たちが住む京都が、長い間、日本史の中心にあったことを知った。茶道などの日常にある文化や、下鴨神社等の世界遺産。給食のなごみ献立など、京都には他府県にはない魅力がたくさんあることを身近に感じた。そこで、探求する課題は「京都の魅力」と設定した。

これまでに児童らは「災害から命を守る」の学習で、GIGA端末や図書資料を使った調べ方・確かめ方・まとめ方など、基本的な技能を身に着けている。また、発表形式としては、ポスターセッションやパワーポイントでのプレゼンテーション発表、ロイロノートでの発表など様々な形で行ってきた。新しい学習内容を楽しみにしている児童の実態からすれば、これまで通りのゴールを設定し進めようとするならば、刺激の少ないものとなり、やもすれば主体的な活動が見込めないと考えられた。そこで、今回は、「京都を紹介するドラマ作り」という課題を作り、単に京都の魅力を調べるだけでなく、映像表現方法を模索し、相手意識を持った表現が出来るようにした。グループの活動だけでなく、全体のストーリー展開等をみんなで話し合うことで、学習がさらに深まることを期待している。

【深い学びに向けて】

○児童の変容を促す主な体験

文化体験（京友禅や御所・歴史資料館） 【発見過程・追究過程】	・知らない文化の発見（友禅・御所等） ・文化をつないできた人々の努力に気づく ・文化・建物に様々な工夫があることに気づく
魅力を探る・表現方法を模索（社会見学） 【提案過程】	・たくさんの魅力を見つける ・魅力の中から伝えたいことを精選する。 ・動画展開を考え、どのようにすれば伝わりやすいか考える。
短編視聴の意見交流 【熟成過程】	・魅力が伝わりやすい構成になっているか ・相手が意図をよみとれているか ・全体の展開の中でまとまりはあるか
動画視聴での意見交流 【表現過程】	・京都の魅力をさらに体験しようとする ・自分の生活で生かせる場面を考える ・自信や充実感を得る

○探究的な学習を創る

京都の魅力を探求するといってもテーマはとても広く、どこまでも深く掘り下げることができる。例えば児童らが3年生で学習した「吉田神社」。銀閣寺で有名な足利義政の妻、日野富子が庇護し、日本中の神道を統括した。また、有名な節分祭りで登場する方相氏が手に持っている桃の杖の所以も古事記からきている。このように、身近な歴史遺産を少し調べただけでも教科書の歴史学習とつながり、児童らにとっては身近な情報となる。ただ、伝統産業や歴史的建築物については、実生活で触れることが少ない為、探求課題として設定しにくいと予想された。そこで、単元の最初に京友禅の体験活動を設定し、伝統工芸に目が向くようにした。また、国語科の「柿山伏」の学習を前倒しして行い、伝統芸能へも興味が向くように計画した。さらに御所内部の見学も計画し、社会的な見地を広めるとともに、歴史的な建築物にも興味が向くようにした。この体験から、文化や歴史を守り続けた人々の思いも感じてほしいと考えている。

この学習では、「京都」を探求してだけでなく、表現方法の探求も並列して進めていくことが今回の学習の要点と考えている。

児童らは日常的にYoutube等の動画に慣れ親しみ、動画作成に関心が高い。そこで、子ども達が協同的に全体のストーリーを考え、基本のストーリーに沿って「魅力探求」の内容を考え表現することで、「京都探求」の情報を精選し、相手意識を持って発信できる力が育つことを期待している。

○学びを生き方につなぐ

京都の魅力を探求することは教育基本法に書かれている、郷土を愛する心を育てることに繋がる。生まれ育った町を大切にすることで、違う場所に移り住むことがあっても、互いの違いを大切に出来る人に成長するだろうと考えている。

今回の学習では、表現時に「相手意識を持つ」を大切に考えている。探求活動を深めていくと出来るだけたくさんの情報を出したくなる。前回の「災害から命を守る」でも、探求活動が深まったグループほど発表時

間が長くなり、主旨が伝わりにくかったように感じている。そこで今回はクラスで基本となるストーリーを作り、自分の探求内容を表現できる時間を制限し、「相手を伝えたいことは何か」をよく吟味できるようにした。この経験を生かして、表現力豊かな成長をしてほしいと考えている。

○他教科との関連について

教科名	単元名・教材名	内容（つきたい力）とのつながり	学習の時期
国語	「聞いて考えを深めよう」	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようにする。	5月
国語	「私たちにできること」	環境問題に提案文を書き、発信する。	7月
総合的な学習の時間	「災害から命を守る」	災害について調べ、命を守る方法についてポスターセッション形式で発信する。	4～6月
社会	「縄文のむらから古墳のくにへ」 「天皇中心の国づくり」 「貴族のくらし」 「武士の世の中へ」 「今に伝わる室町文化」 など	基本的な歴史の知識とともに、京都を中心とする文化の発展や、政治についての知識を得る。	6月～12月
国語	「柿山伏」	狂言の表現の面白さを見つける。	9月

7 単元構想と評価・支援

京都の魅力を発信しよう（全35時間）

探究の過程	学習の流れ	協働的な学び
発見課題	京都にはどのような魅力があるのだろう。（8H）	
情報の収集	京都の魅力を考えてみよう。 文化・歴史 伝統産業 世界遺産	○分担して調べたことをもとに情報を整理する。
整理・分析	なぜ、多くの人たちが京都に来るのだろう。	
追究課題	京都の魅力を探ろう。（10H）	○実際に見学したり体験したりして、具体的な情報をもとに意見を話合う。
情報の収集	課題に応じた方法で調べてみよう。 インターネットで パンフレットで インタビューで 現地で 着物や和食に人気がある。 自然が豊かだ。 文化や歴史が豊富だ。	○GIGA端末を活用して情報を共有し、発表資料を作成する。
整理・分析	京都の魅力は何だろう。 自分たちの考える魅力をストーリーに沿って伝えよう。	○伝えたいことを整理し、互いに発表内容を確認しながら意見や改善点を交流する。
提案課題	京都の魅力を発信しよう①（4H）	
情報の収集	相手意識 話すスピード	
整理・分析	別のグループに向けて提案しよう。	
まとめ・表現	ストーリー 原稿の内容	○学習してきたことをもとに伝えたいことを絞って効果的に伝える工夫をする。
熟成課題	魅力やストーリーを練り直そう。（2H）	
整理・分析	みんなから意見をもらおう	
まとめ・表現	話し合い 再考	○学習を振り返り自分たちの成長を感じる。
表現課題	京都の魅力を発信しよう②（11H）	
情報の収集	現地に行って撮影しよう 本物の魅力をさらに発見した。 魅力を守る大変さがわかった。 観光客の声が聞けた。	
整理・分析	学習発表会で伝えよう。 思いをもって 相手意識 より分かりやすく伝えるために	
まとめ・表現	京都の魅力から他地域の魅力に気づいた。 京都の伝統や文化を守り伝えていくことは、私たちにとっても大切なことだ。 相手意識をもって伝えることの大切さに気づいた。 魅力ある京都をこれからも守り伝えていこう。	

観点別評価の視点【】と方法（）		支援
過程ごとの期待する児童の変容		
発見課題	京都にはたくさんある魅力の一部を知り興味を持つ。	
- 複数の伝統文化について触れ、長い時間受け継がれてきた良さを感じている。【知① 発言・ロイロ記録】 - 伝統文化や遺産の良さに気づき、作られた過程や歴史から疑問や思い持ち、課題を設定している。【思① 発言・ロイロ記録】 - 複数の選択肢の中から自分が興味を持つ課題を積極的に設定できる。【主① 発言・ロイロ記録】		京都検定の資料を活用することにより、京都のたくさんの魅力について知ることが出来るようになる。
追究課題	京都の魅力を興味に応じて調べることができる。また、全体の展開に応じたストーリーを考えることができる。	
- 複数の文化財や遺産を見学し、その魅力や歴史、受け継いできた人の努力について知ることが出来る。【知② 発言・ロイロ記録】 - 劇化して発信するために、どのようなストーリーを展開していくか考えられる。【思② 発言・ロイロ記録】 - グループ活動での話し合いで、自分の考えを発信したり、相手の考えを尊重したりできる。【主② 発言・ロイロ記録】		- 京都についてさらに興味を持てるように、御所や考古資料館の見学、伝統文化体験などの多方面の体験活動を設定し、関心が持てる文化に触れられるようにする。 *情報の整理については、国語や前単元で学習してきた「理由を明確にして伝える」ことを確認する。
提案課題	仮動画を見合って、魅力が伝わるかを確かめることができる。	
- たくさんある魅力の中から、伝えたい内容を精選して相手意識をもった動画になっているかに気づけている。【知③ 発言・ロイロ記録】 - 動画づくりの過程で自分たちが伝えたい魅力が、相手意識をもって表現できているか確かめられている。【思③ 発言・ロイロ記録】 - 動画づくりの過程で、自分たちの表現が伝わりやすいものかを探ろうとしている。【主③ 発言・ロイロ記録】		
熟成課題	ストーリーの完結させ、視聴し感想を出し合うことができる。	
- 視聴した感想を受け、より伝わりやすくするには何をすればよいかを理解している。【知④ 発言・ロイロ記録】 - 視聴した感想を受け、より伝わりやすくするにはどのようにすればよいかを考えられている。【思④ 発言・ロイロ記録】 - 視聴の感想から、課題の解決方法を粘り強く探ろうとしている。【主④ 発言・ロイロ記録】		
表現課題	社会見学で撮影を行い動画を完成させる。知らなかった京都の良さや、繋げてきた人々の思いを感じることができる。	
- 完成した動画を鑑賞し、自分が伝えたいものをどのように編集すれば、相手に伝わりやすくなるかを知る。【知⑤ 発言・ロイロ記録】 - 全ての動画を編集し、伝えたい事柄が、伝わりやすい順序や表現が出来ているかを考え、作成できている。【思⑤ 発言・ロイロ記録】 - 学習で得た表現の知識・技能を生活の場面や今後の学習で生かそうとしている。【主⑤ 発言・ロイロ記録】		*動画作成に関わる、肖像権や著作権等の情報モラルについては、すでに情報モラル教室や情報機器の操作の時間に指導しているが、再度要点をまとめて確認する。

8 本時について（12／35時間目）

（1）目標

調べてきたことを伝えるストーリーを考える【思②】

（2）展開

○学習活動 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊟個別支援
1. 本時の学習のめあてと活動内容を確認する。	
調べたことを伝えるストーリー展開を考えよう。	
2. グループで、調べた事を3分程度で伝えられるストーリーを考える。 ・全体のストーリーとずれていないかな。 ・伝えたい事が時間内に全部入るかな。 ・セリフはどうしようかな。	*自分から「○○だと思うのですが、△△さんはどう思いますか？」といった質問を積極的にしていくよう促す。 *後で交流しやすいようにロイロノートでイメージ図を作成する。
3. 全体交流をする。 ・面白い内容だけど、時間は足りるかな。 ・○○のような展開はどうかな。 ・短くまとめるセリフが必要だね。	㊟ 自分から意見が出せない事が想定されるので、意見に対する同意や付け足しをメインで考えるように促す。 *意見や賛成・反対を伝え合う際には、明確な理由を考えて伝えられるように促す。
4. 意見を受けて、グループでストーリーをねりなおす。 ・	
5. 振り返りをする。 ・自分の意見がどのように反映されたかを振り返る。	*自分の考えがどうなったか、また、それが誰のどんな意見からそう考えたのかを書くよう促す。

（3）評価

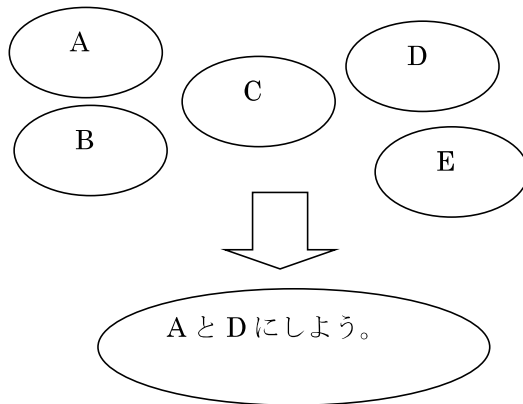
【思②】	・劇化して発信するために、どのようなストーリーを展開していくか考えられる。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
・最初は○○のようなストーリーを考えていましたが、○○さんの「内容が多すぎるのでは」というアドバイスから、本当に伝えたい2つの魅力に絞ってストーリーを考えられました。	

(4) 板書計画

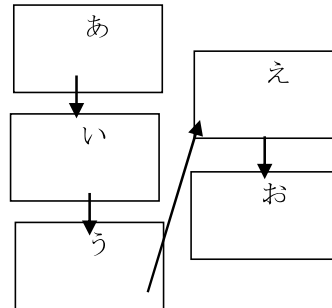
㊦ 調べたことを伝えるストーリー展開を考えよう。

調べた魅力を3分のストーリーにする。

ロイロノートで セリフも考えてみる



㊦



見る人を引きつける内容を選び簡単なセリフを考えよう。 (0928)

6年1組 小林学級 総合

体のストーリー展開を考えていく中で、全体的に収まるかどうかを考慮し、京都の魅力を伝えるためにブラッシュアップしていく。

「京都の魅力を発信しよう」
調べてきたことを伝えるストーリーを考える。

ストーリーの編集

情報の取捨選択と再編集

絵コンテの発表

ストーリーを考えるときに、伝えられる時間や特定の相手に伝えるという条件に応じて、集めてきた材料を比較分類して、情報を取捨選択することができた。

生活科学学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 小西 聡子

- 1 日時 令和4年10月27日(木) 第5校時(13:25～14:10)
- 2 学年・組 第1学年1組(34名)
- 3 単元名 いきものとなかよし

4 単元の目標

継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考え、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけ、生き物に親しみをもち、大切にすることができるようにする。

5 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	内容の まとまり ことの	生き物は生命をもっていることや成長していること、生き物と自分とのかかわりに気付いている。 【内容(7)】	動物を飼ったり植物を育てたりすることについて、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それをすなおに表現している。 【内容(7)】	動植物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物に親しんだり、大切にしたりしようとしている。 【内容(7)】
	単元の評価規準	継続的に生き物を飼育する活動を通して生き物に合った世話の仕方があること、生き物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生き物を飼育する活動を通して、生き物への親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。
小単元ごとの評価規準	ホップ		①身近な生き物や学校にいる生き物について、知っていることを表現したり、伝え合ったりしている。	①身近な生き物や学校にいる生き物について、自ら進んで関心をもち、関わろうとしている。
	ステップ1	①生き物には、さまざまな生態があることに気付いている。	②生き物のお世話の仕方について、自分の経験をもとに考えている。	
	ステップ2	②生き物の生態や変化について、継続的に観察し、状況に応じて工夫して世話をしている。	③生き物の生態や変化の様子を継続的に観察し、これまでの様子とも比べながら、仲良くするためにどのようなことをすればよいか考えている。	
	ジャンプ	③生き物には生命があり、生態や様子に合った世話のしかたがあることに気付くとともに、継続的に世話をすることの大切さに気付いている。	④これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみいたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。	②生き物の世話をすることや生き物のいる生活について、自ら進んで関心をもち、これからも親しみをもって生き物と関わっていこうとしている。

6 単元について

【学習対象や学習材について】

昨今、動物を飼育する家庭が昔に比べて減ってきていると感じる。動物を飼育した経験の無い児童が増え、動物と関わることを不安に思う児童や世話をすることに消極的になる児童がクラスの中に必ずいると予想される。そのような児童には、毎日観察をすることからはじめ、徐々に愛着が持てるようにしていきたい。自分の飼育している動物の変化や成長の様子を目の当たりにすることで、飼育している動物の生命を愛おしいと感じられるようになっていくと考える。

また、飼育している中で困ったことがあったら、友達や身近な人、時には動物園の獣医さんに相談し、解決する方法を考え、やってみるということの繰り返しを体験したい。そういった過程で児童は小さな変化にも心を傾け、その変化の理由を考えるようになるだろう。それらを友達の気付きと比べたり関連付けたりして考えることで、動物の特性やそれに応じた世話の仕方があることに気付いていく。そのためには、保護者の理解のもと、できるだけ自分たちだけでお世話ができるように環境を整え、継続して世話をしていきたい。そうして、生命を任されている責任感も持てるようにしていきたい。単元の終わりには、お世話ができたようになったという自信をもつとともに、生命への関わり方の変容にも期待したい。

【深い学びに向けて】

○思いや願いが膨らむ学習を創る

学級では、5月にアサガオを育てる学習をした際、導入で校長先生からアサガオの種をもらった。そこには、名前をつけて大切に育ててほしいという内容の手紙が入っていた。児童は種に思い思いの名前を付け、早く育てて欲しいと願った。本単元の導入でも、まずは動物との出会いを工夫したい。飼育委員から「1年生で大切に育てて欲しい」と生命を託されることで、任された責任感や自己有用感を高められるような出会いをしたいと考えている。また、動物を飼育する上で「なかよくなるためにはどのような世話をすればよいか」を児童たちが考え、解決していけるような環境を整えたい。「どのような場所で生活しているのか」「どんなものを食べるのか」「どうやって触れればよいのか」といった疑問をもった際に、①友達と相談する②担任に質問する③飼育委員のおねえさん・おにいさんに相談する④図鑑（インターネット）などで調べるといった方法が児童から出てくると考えられる。それに加え、児童たちの「困った」を解決する方法として、動物園の獣医師に聞いてみるといった活動も取り入れたいと考えている。飼育している動物の様子をじっくりと観察させ「自分がどんな世話をしてあげたいのか」といった自分自身から出る成長への願いや期待を大切にして、世話の仕方を考えたり調べたりし、やってみることを繰り返しながら、成長や変化と自分達が行った世話との関係に気付いたり、自分自身の世話の仕方や世話をするときの気持ちの変化に気付いたりできるように、学習の足跡を残していきたい。

○学びを実生活につなぐ

本校の児童は、自分達で生き物を育てた経験が少ないのではないかと感じている。初めは目の前にいる動物に対して、どのように接すればよいのか戸惑う児童も少なくないだろう。また、触ってみたい、お世話してみたいという思いから、初めは自分本位な関わり方をする児童が多いと考えられる。しかし、継続的な世話や観察を続けることで、次第に動物と自分の関わり方には双方向性があることに気付いていくだろう。そのような深い関わりの中で、動物も自分達と同じように性格や嗜好があることや、命をもっていることに気付き、同じ生命をもつものとして大切にしていけるようにしたい。そして、動物の継続的な世話を続けることで得られる動物飼育の楽しさを感じることで、単元の終わりには、毎日飼育を続けることができた自分自身の成長にも気付き、自己有用感が高まることを期待している。

7 指導計画

学びの過程	学習の流れ
いきものに ふれる	キンギョを飼っているよ ウサギをだっことしたことがあるよ 学校でザリガニを見たよ おもい・願い ホップ どんな いきものと なかよく なりたいかな (1H) いろいろ 知りたいね 飼育小屋で、ウサギを見たよ 2年生は、教室でキンギョを飼っているよ 理科室には、小さなメダカがいたよ みんなで探しに行こう 見つけたことを友達に話そう もう少し よく知りたいな
	おもい・願い ステップ はじめまして こんにちは (2H) そうっと 見てみよう そうっと ふれてみよう えさを やってみよう 飼育委員から まかされたよ 見つけたことを友達に話そう あっ、こっちを見たよ 耳が動いているよ 種を食べているよ ふわふわだ あっ、うんちをしたよ わあ、あったかいよ ウサギのこと もっと 知りたいな 仲良くしたいな
	おもい・願い ステップ もっと なかよしに なりたいな (5H) せわを しよう 調べて みよう よく見て みよう わかったことや不思議に思ったことを 友達に紹介しよう 近づいたらかくれちゃったよ 心臓の音は 私のよりずっとはいいよ どんな おうちが すみやすいかな 世話や観察は毎日続けることが大切だね うれしいと 思うことが わかってきたよ 世話を して もっといろいろ知りたいな ちょっと元気がないときもあるよ 大丈夫かな 心配な時は 獣医さんに相談するといいね 眠そうだね 今はそうっとしておこう 足のゆびの数が 前足と後ろ足でちがうんだ
いきものに かわる	おもい・願い 健康観察を 毎日する 欠かさず 世話を する いっぱい わかったよ なかよくなったことやわかったことをカードにか こう 生き物のことをよく知ることが大切だね だっこがとくいに なったよ 良く見て 絵をかいたよ △△ちゃんのひみつを クイズにしたよ なかよしになったことを友達に紹介しよう こんなに なかよしに なったよ
	おもい・願い ジャンプ ずっと だいすき (1H) どんなことをしたか振り返ろう もっとやってみたいことを みんなで話そう じょうずに 世話ができるように なったよ きれいすきの生き物だから そうじを忘れないよ これからも せわを 続けたいな 生き物は大切な友達だよ これからも世話をするね
いきものに したしむ	

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価
ホ ッ プ	1	○身近な生き物の様子について話し合う。 ◆学校にはどんな生き物がいるか話し合しましょう。 学校探検のときに、飼育小屋で、ウサギを見たよ。ウサギはニンジン食べていたよ。2年生は教室でキンギョを飼っているよ。理科室には、小さなメダカがいたよ。	！事前に保護者にアンケートを実施し生き物とのかかわりやアレルギーの有無を把握しておく。 ㊦生き物と触れ合いたいという気持ちをもたせ、次時につなげる。	態
ス テ ッ プ 1	2 ・ 3	○校内で飼育している生き物の様子を見に行き、生き物と関わり、発見したことや思ったことを交流する。 ◆学校には生き物がたくさんいましたね。生き物の様子を見に行きましょう。 ◆生き物を見たり触ったりして見付けたことや分かったことは何ですか。 ◆生き物と仲良くなるためにはどんなことをしたらいいかな。 こっちを見たよ。耳が動いているよ。キャベツを食べているよ。 ○飼育委員から、ウサギのお世話を任される。 近づいたら隠れちゃったよ。ウサギは何を食べるのだろう。毛がふわふわだったよ。眠そうだね。今はそうっとしておこう。もっとえさをやったり、お世話をしたら仲良くなれるんじゃないかな。どんな食べ物が好きなのか、どうするか調べたいな。	㊦絵日記など生き物と触れ合った経験が書かれているものを提示することで、活動の意欲を高められるようにする。 ！アレルギーのある子には主治医や保護者に相談して、ゴーグルやマスク、軍手等を付けたり、見るだけにしたりする。 ！生き物を抱くときは、落としたりひつかかれたりしないように、バスタオルなどを膝に掛ける等の配慮し、座って抱くなど抱き方を事前に教えておく。 ㊦見つけた生き物の様子や関わって気付いたことが書けるようにカードを用意する。 ㊦国語科「しらせたいな みせたいな」	知 思
ス テ ッ プ 2	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 本 時	○生き物と触れ合いながら、世話のしかたや関わり方について考えたり、詳しい人に教えてもらったりする。 【常時活動（配当外）】 継続的に生き物の世話をする。 分からないことがたくさんあったから獣医さんに教えてもらったよ。ウサギの心臓の音がとっても速かったよ。わたしたちと同じ命だから大事にしないといけないだね。 ウサギのお家はというふうに掃除したらいいのかな。ウサギは何を食べるのかな。獣医さんに聞いてみよう。 糞の掃除もはじめは苦手だったけどうまくなって、だんだんお世話も早くできるようになったよ。ウサギも喜んでくれてるみたいだ。えさもちゃんと食べてくれてうれしいな。 ○生き物と仲よくなったことや分かったこと、思ったことを伝えるために、自分の選んだ(クイズ・絵・実演・写真など)を書いたり準備したりする。 ◆お気に入りの生き物と仲良くなったことをみんなに伝える準備をしましょう。 抱いたり触ったりできるようになったよ。ぼくは、ウサギが苦手だったけれど、抱っこができるようになったよ。世話や観察は、毎日続けることが大切だね。生き物のことをよく知ることが大切だね。心配な時は、獣医さんに相談するといいね。	！怖がる子どもには、無理強いせず、近くで見ることや触れるだけでもよいことを伝えておく。 ！生き物と触れ合う前後には、必ず手洗いをする習慣をつける。 ㊦継続して生き物に触れ合えるように、生き物を教室に連れてくるなど環境を整備する。 ㊦分かったことや思ったことをいつでも表現できるようにカードや掲示板を用意する。分からないことを調べられるよう図鑑なども準備しておく。 ㊦分かったことや思ったことを全員で共有する時間を定期的にとり、世話をしていた疑問に思ったことや、自分の大好きな生き物のことを十分話せる時間をとる。 ㊦子どもの活動の様子をその都度写真にとり残しておき、振り返りなどの場面で活用する。	知 思
ジ ャ ン プ	9	○育ててきたことを振り返り、できるようになったこと、変わったことを伝え合う。 ◆今までの学習でどんなことが分かってどう思いましたか。また、以前と比べて変わったことは何ですか。 上手に世話ができるようになったよ。何だかお母さんになったみたい。○○ちゃんの方も私たちに慣れてきたのだね。私たちが優しいからかな。生き物のことをよく知り世話をすることが大切だ。掲示板などを使って仲良しの紹介をしたいね。	㊦飼育や観察の喜びや大切さについて繰り返し言葉かけをすることで、学習後も生き物への興味・関心が継続できるようにする。 ㊦これからもよりよく生き物に接していこうという気持ちを大切にし、継続して活動できるよう環境を整えておく。	態

重点評価場面

- ・知 生き物と関わる中でどのようなことに気付いたかが分かる成果物や発言の様子【4～8時間目】
- ・思 生き物の様子や世話の仕方など生き物について考えたことを表現した発言やカード等【4～8時間目】
- ・態 今までの学習を振り返り、学びを生かして生き物とよりよく関わっていこうとしていることがわかるカード【9時間目】

※授業改善に向けては、単元における毎時間の子どもの様子やノートなどの見取りを行うことが大切です。

8 本時について（8／9時間目）

（1） 目標 これまで生き物を世話してきた体験や経験をもとに、仲良くなったことを友達と伝え合う。

【思④】これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。

（2）展開

○学習活動 ・ 児童の反応	◇支援 * 留意点 ㊦個別支援
○本時のめあてを確かめる。	
クローバーと仲良くなったことを伝えあおう	
○活動の流れや仕方を確かめる。	*活動のタイムテーブルと、聞く時、話す時の視点を全体で確認する。
○自分の選んだ伝え方のカード・絵・写真や動画をもとに、1対1で伝え合う。	*前時までに書き溜めた付箋の中から友達に伝えたいことと伝える方法を選んでおく。(カード・絵・タブレットで撮った写真や動画)
・初めはこわかったけれど、抱っこができるようになったよ。	㊦文を書くことが難しい児童には、自分ができるような方法を選んで良いことを伝え、一緒に選ぶようにする。
・クローバーは、にんじんが大好きです。	
・クローバーのために、お家を作ったよ。	
○友達との交流で思ったことや気付いたことを話し合う。	*ウサギと仲良くなったことをふりかえることで、これからもクローバーを大切にしていきたいという思いをもつことができるようにする。
・クローバーのひみつがわかったよ。	
・たくさん仲良くなれて、うれしかったよ。	
・みんなお世話名人になれたね。	
○ふりかえりをする	

（3）評価

【思④】	これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・交流の様子」	
ぼくは、クローバーに触れるようになりました。クローバーはにんじんが大好きで、食べている姿がかわいいです。とてもこわがりなので、大きな音をたてないようにするといいです。 これからも元気に育ててほしいので、お世話をがんばろうと思います。	

(4) 板書計画

いきものと なかよし

クローバーとなかよくなったことをつたえあおう

活動の写真

写真

はじめまして こんにちは

まいにち おそうじ

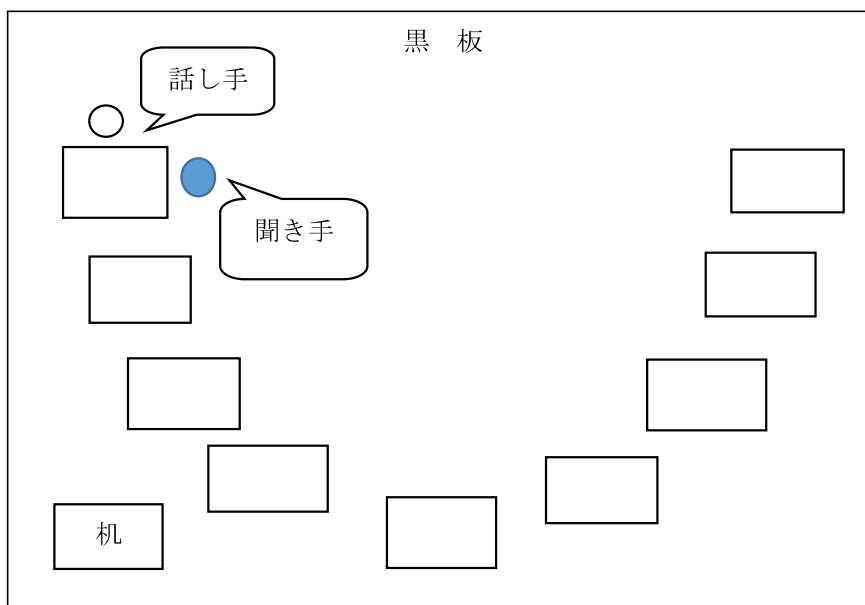
活動の写真

写真

心臓の音を聞いてみたよ

こまった！

(5) 場の工夫



時間になったら話し手と聞き手が交代する。
聞き終わったら、空いているところに移動する。

クローバーと仲良くなったことを伝え合おう。(1027)

1年1組 小西学級 生活

話し合う、伝え合うためには、伝えたいことを話すだけでなく、「質問する」「復唱して確かめる」「共感を示す」「感想を言う」など、相手の発言を受けて話をつなぐことも重要な要素となる。

子どもの思いを伝える手段を自分で選択する。

表現手段は自分で選ぶ

伝え合う視点を明示

書きためた情報から発表用に資料に再構成

写真や動画も活用

○で囲んで注目させる

これまで生き物を世話してきた体験や経験をもとに、仲良くなったことを友達と伝え合うためには、体験と表現を繰り返し、ためてきた情報の中から伝えたい思いをもって話すことが大切。

56

育成学級 国語科学習指導案

授業者 小山仁美 有山陽子

1 日 時 令和4年11月24日(木) 第5校時(13:50～14:35)

2 学年・組 育成学級3組6名(2年2名,4年3名,6年1名)

3 単元名 ともだちのことをしらせよう ～みんなえがお～

4 目標

- ・相手のことに興味をもち、インタビューをすることで共感したり、違いを知ったりすることができる。
- ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを集中して聞くことができる。
- ・紹介するという見通しをもち、進んで友達に質問し、友達について書こうとすることができる。

5 単元の評価規準

【知識・技能】

丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて言葉を使おうとしている。

【思考・判断・表現】

話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを集中して聞こうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

相手について知りたいことや自分の知らせたいことを選ぼうとしている。

6 単元について

(1) 児童について

日常の学習はA児B児C児D児E児F児での集団学習,児童の組み合わせを変えながら分かれて行うグループ学習,各々に分かれての個別学習,各学年の授業に参加しての交流学习と,学習内容および活動に応じて様々な形態を組み合わせて行っている。今年度よりF児の転入があったり、A児が教室に入室して学習を進めることができるようになったりしたことで、お互いに意識し合いながら新たな人間関係を形成している。しかし、まだまだコミュニケーションに課題があり、同じクラスでも関わりの少ない関係性があるのも実態である。本単元を通して、意図的にコミュニケーションをとることで、相手のことをさらに知り、よりよい関係づくりを育みたいと考える。

(2) 単元について

本単元では、「友だちブック」を作る際に必要な情報を集めるために、テーマに沿ってインタビューをし、分かったことをみんなに発表する。

昨年度の学習で、自分のがんばりをロイロノートにまとめて発表する経験を積んでいる。それをもとに、この単元では、友達にインタビューして、聞き取ったことを紹介するという学習を設定した。これまでの関係や今年度の新たな出会いから、お互いのことを知りあえている状態ではあるが、まだまだ知りえていないこともあるのではないかと考える。友達の話や友達自身に関心をもち、「相手のことを知りたい」「相手の話を聞きたい」という意欲が高まるようにしたい。この単元を機会に友だちの新たなことを知るきっかけとなり、より一層相手に興味をもち、お互いに自分の思いや考えを伝え合える関係づくりにつなげていきたい。

これまでに生活単元学習で先生インタビューを行ってきた。この学習を通して、相手意識をもって、話し手が知らせたいことを落とさず聞くことを意識してインタビューを行うことができるようになってきた。この経験を生かして、より身近な存在の友達に自信をもってインタビューを行えるようにしていきたい。

7 本時のねらい

A児 R・T	・自分の思いを伝えるために、筆談でコミュニケーションをとる。 ・相手の問いに応じて答え、コミュニケーションを楽しむ。
B児 Y・M	・友達のことを知るために、自分の聞きたいことをインタビューする。 ・インタビューを通して、新たな発見をしたり、相手に共感したりしながらコミュニケーションを楽しむ。
C児 K・M	・友達のことを知るために、自分の聞きたいことをインタビューする。 ・インタビューを通して、感想を伝えコミュニケーションを楽しむ。
D児 S・M	・友達のことを知るために、メモを手がかりにしてインタビューをする。 ・相手の問いに応じて答え、コミュニケーションを楽しむ。

E 児 T・U	・ 友達のことを知るために、メモを手がかりにしてインタビューをする。 ・ 相手の問いに応じて答え、コミュニケーションを楽しむ。
F 児 K・T	・ 友達のことを知るために、メモを手がかりにしてインタビューをする。 ・ 相手の問いに応じて答え、コミュニケーションを楽しむ。

8 指導計画（全6時間）

時	主な学習活動	活動のポイント
1	活動計画を立てる。	指導者のデモンストレーションをもとに「友だちにインタビューをして、そのことをロイロノートにまとめて伝える」という活動を理解し、見通しを持たせる。
2	インタビューの仕方を知る。	インタビューするコツを伝える。インタビューするだけでなく、同じ話題での自分の思いも伝えることで共感したり、違いに気づいたりできるようにする。
3	友だちにインタビューし、その内容をスライドにまとめる。	友だちにインタビューをしたり感想を述べたりすることができるようにする。 ロイロノート・スクール上でスライドを作成する。
4 本 時	友だちにインタビューし、その内容をスライドにまとめる。	友だちにインタビューをしたり感想を述べたりすることができるようにする。 ロイロノート・スクール上でスライドを作成する。
5	発表の練習をする。	自信を持って伝えられるように、スライドに合わせて発表原稿を読む練習をする。
6	友だちに発表する。	教室でインタビューしたことを伝え合う。

9 本時の展開

	主な学習活動	学習における留意点	評価の視点
導 入	○これまでに行ったインタビューについて想起する。		
	インタビューをしてともだちのことをしろう。		
	○インタビューで気を付けることが話し合う。	◎インタビューで大切にしたいことを教室掲示しておき想起しやすくする。	【主体的に学習に取り組む態度】・意欲的に活動に参加している。（行動観察）
展 開	○友だちにインタビューをする。 ・ 聞き手が6つある質問の中から、聞きたい質問を3つ選ぶ。 ・ 聞き取った内容に対して、理由を聞く。 ○聞き取った内容をロイロノートにまとめる。	◎児童は2人1組になり担任が一人そばについて支援する。 ◎すぐに答えられない児童については、担任が支援する。 ◎視覚支援として、質問の答えをイラストで用意して答えやすくする。 ◎理由が答えられない児童は、選択肢を用意し、選ぶことができるようにする。 ◎ロイロノートの操作が苦手な児童については、担任が支援する。	【思考・判断・表現】話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞こうとしている。（発言）
ま と め	・ 友だちにインタビューしてみたの感想を発表する。	◎インタビューでがんばれたことや友だちの対する気づきについてほめる。	

10 板書計画

めあて インタビューをしてともだちのことをしよう。

本時の流れ

インタビューで気を付けること

第2学年 学級活動（2）指導案（デジタルシチズンシップ教育）

指導者 京都市立第四錦林小学校
教諭 兼田 亮平

1 日 時 令和 4 年 11 月 9 日（水） 第5校時（13:40～14:25）

2 学年・組 第2学年2組（19名）

3 題 材 「“じぶんの” パソコンとじょうずにつきあうには？」
（ア 基本的な生活習慣の形成）

4 題材について

（1）児童の実態

本クラスは、がんばろうと決めたことを素直に行おうとする子が多く、また何事にも前向きに取り組む、子どもらしい児童が多いクラスである。特に2学期からは、日直当番がその日の行動目標を決めてクラスに提示しみんなで取り組みふりかきを行う「がんばるゾウ」を行っている。短期的なめあてを設定すると、それに向けて取り組む素直さがある。また、学校のきまりやルールは守るべきものとしてきちんと守ることができている。

自分のパソコンについては、使用できる環境なのか、どのような使用状況なのかについて詳しくはわからない。しかし、子ども向けのスマートフォンを携帯させていたり、動画配信サービスや SNS での動画視聴を行っていたり、テレビゲームを楽しんでいる児童がいることは子どもたちの会話などから分かっている。また、学校の GIGA 端末の持ち帰りは、夏休みに行ったのみで日常的に実施していない。学校内での使用は、授業や朝の帯時間の使用に限定されており、教師が必要だと判断したときに使用を許可している。また、その際に閲覧しているサイトや使用しているアプリは、授業や活動に必要なものを正しく活用している。

（2）題材設定の理由

学年が上がるにつれて、GIGA 端末の持ち帰りが増えるなど家庭でパソコンを操作する時間は増加する。パソコンを使って宿題や自身の学習を進めたり、自分の趣味で使ったりする際に、起こりうる様々なトラブルに対して、その対応の仕方考えることを通してパソコンを安心して有効に活用するための方法を理解し、実践につながる意思決定につなげたい。

また、GIGA 端末は学習に限定しての使用を想定しているが、家庭のパソコンではゲームや通信などの楽しみのために使うことが考えられる。将来に渡って、パソコンを活用して豊かな生活を送れるように、GIGA 端末での学習場面に限定することなく、一般的な場面においてのパソコン活用について考えられるように題材を設定した。

5 第1学年および第2学年の評価規準

観 点	よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

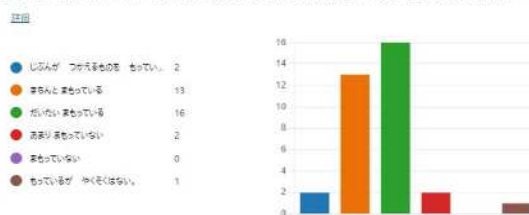
6 事前の活動

家庭でのパソコンの使用状況を把握するためにアンケートを行った。

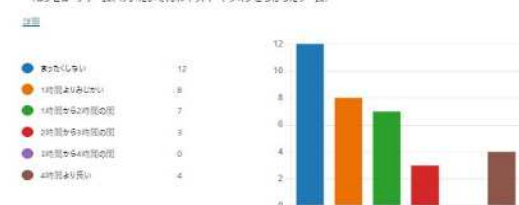
1. お家で、あなたが好きなときに つかったり 見たり できるものを 教えてください。



2. けいいてんわ・スマートフォンやコンピュータのつがい方について、家の人とよくそくしたことをまもっていますが。



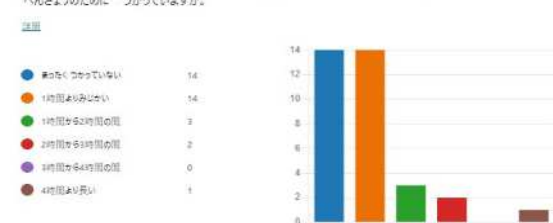
3. 月曜日から金曜日までの間、1日あたりどれくらいの時間 ゲームをしますが、
(コンピュータゲーム、けいいてんわやスマートフォンをつかったゲーム)



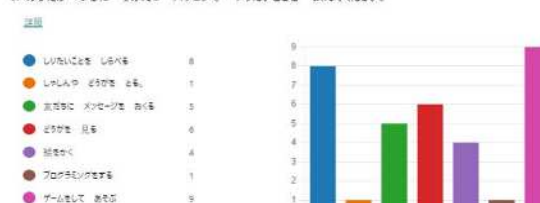
4. 月曜日から金曜日までの間、1日あたりどれくらいの時間 どうを見ますが。



5. 月曜日から金曜日までの間、1日あたりどれくらいの時間 スマートフォンやコンピュータを
べんぎょうのために つかっていますか。



6. あなたが 好きな つかえる パソコンで やりたいことを 教えてください。



結果から、パソコンの使用について概ね家庭でのルールや約束を作り、それを守る形で使うことができていることが分かる。しかし、使用の目的はゲームや動画視聴が主になっていることも読み取れた。今回の指導を通して、パソコンを正しく、安全に使えるように意識し、楽しみだけでなく学びのためにも積極的に活用して欲しいと考えた。

7 本時のねらい

家庭へパソコンを持ち帰ったときに、パソコンを使って宿題や自身の学習をしたり、自分の趣味で使ったりする際に、起こりうる様々なトラブルに対して、その対応の仕方を考えることを通して、パソコンと上手に付き合うための方法を理解することができるようにする。

8 本時の展開

	児童の活動	指導上の支援 (●) 留意点 (○) タブレット活用 (T)	資料	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
導入	つかむ 1 家にあるパソコンをどのようなことに使っているか(使いたいかな)を話し合い、本時のめあてにつなげる。	○パソコンは学校から持ち帰ったGIGA 端末に限らず、家庭のパソコンやスマートフォン・タブレット端末を想定させる。 ○どんなことに使いたいかはワークシートに記入する。		
	【めあて】自分のパソコンと上手につき合うためには、何が大切なのか考えよう			
展開	さぐる 2 家でどのようなトラブルが起きそうかを考える。	○先生がいない状況で困ることを考え、全体で共有する。		
	見付ける 3 トラブルにはどのように対応するとよいかを知る。	動画教材の視聴 ○「ひとやすみ」「かんがえる」「たずねる」の3つの対応の仕方を伝える。	STEAM ライブラリーの動画「自分のパソコンと上手につきあうには？」	
終末	決める 4 家で上手にパソコンとつき合っていくための約束事を決める。	○導入でまとめた、自分が家でしたい使い方に対してその約束を考えるようにする。 ○「△△なときは、□□のようにしたい」という文例を参考にして、自分なりの約束の形でまとめるようにする。 ○自分にあつためあてを考えられるように、時間を十分に確保し、個々の現実に応じたものになるように個別指導を行う。 ○実践するための工夫を考えている児童があればその場で褒め、全体に広める。		◎自分がパソコンを安全に楽しく使うためのめあてや実践方法を決め、実践しようとしている【思】 (ワークシート・発表)

9 板書計画

【めあて】自分のパソコンと<u>上手につき合う</u>ためには、何が大切なのか考えよう				
パソコンを安全に楽しく使う				
しらべる	みる	とる	あそぶ	困ったときは 「ひとやすみ」 「かんがえる」 「たずねる」

10 事後の取組

本時の学習内容を学校ホームページや学級通信に掲載し、家庭に周知を図る。また、児童が書いたワークシート持ち帰り、お家の人からコメントをもらうようにし、お家の人と一緒に考える場を設けるようにする。

1. 日 時 令和4年11月9日(火) 第6校時(14:45~15:30)

2. 学年・組 第5学年(男子13名, 女子9名, 計22名)

3. 題 材 名 メディアの使い方, 自分でバランスをとるには?

4. 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく、活気があり、チームワークが良い。月に一度実施している「学級力アンケート」では、友だちとの繋がりや、認め合い、感謝の気持ちを表すことなどの項目で前向きな回答をしている。また、5学年としての自覚が芽生えつつあり、学校行事では、率先して前に出て他学年を引っ張ろうとする姿が見られている。しかしその反面で、発表する際は決まった児童ばかりが挙手をするなどの消極的な一面や、良くないことと分かっているのに周りに流されてしまうことがある。

GIGA 端末の使用については、ロイロノートで自分が使いやすいノートのテンプレートを作ったり、Teamsを通して調べたことの情報共有などをしたりと、新たな活用方法を見出し、積極的に使おうとする姿勢をもっている。多くの授業で、自分の意見などをまとめる際に、ノートかGIGA 端末かを選択できるようにしているが、8割もの児童がGIGA 端末を選んで使用している。使用する際には、「学習道具の一部」という認識のもと、休み時間であっても自分が楽しむだけの活用にならないよう指導をしている。

(2) 題材設定の理由

高学年になり、家庭での自由な時間をゲームや動画視聴に使うことが増えている。スマートフォンを所持する児童もおり、メールなどでよく、やりとりもしているようだ。学校でGIGA 端末を有効活用でき、児童の中で電子機器の可能性は広がり続けている。そうした中で、単に、「使いすぎだ」、「遊んでばかりいる」、「トラブルに巻き込まれる」などと児童の行動が制限されることも想定される。児童等には、これから活用していくパートナーをネガティブなものとして認識するのではなく、問題解決や自身の楽しみの一つとしてのポジティブな道具として扱ってもらいたい。題材を通して児童には、「学習の道具として」、「生活の一部として」自身の目的に合わせて自律しながら活用すべきだと気が付くきっかけにしたい。

5. 第5学年および第6学年の評価規準

観 点	よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより よくしようとする態度
評 価 規 準	日常生活での基本的な生活習慣における自己の課題に気づき、改善に向けて自ら考え行動することができる。	日常生活での基本的な生活習慣における自己の課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	日常生活での基本的な生活習慣をよりよくするために、自己を振り返りながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

6. 事前の活動

児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
・学級力アンケートに記入する。	・学級目標を確認し、自身や学級の目標を想起しながら回答する。 ・日頃の自分を振り返りながら回答する。	◎自分や友達のよさや可能性を生かしてなりたい自分や学級について考えることができる。(思)【アンケート、ロイロノート】

7. 本時のねらい

自分に最適なメディアバランスを考えて、健康にメディア(パソコンやネット)を利用することができるようにする。

8. 本時の展開

	児童の活動	指導上の支援 (●) 留意点 (○) タブレット活用 (T)	資料	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
導入	つかむ 1 普段、家庭でどのようなことにどれだけの時間、メディアを利用しているのかを振り返る。	○「メディア」について理解する。インターネットやテレビなどの電子媒体だけでなく、本などの紙媒体やラジオなどの音声もメディアの一部であることを確認する。 ○「平日の放課後」にシーンを固定して、どのようなメディアを使っているのか確認する。 ○シンキングツール「ピラミッドチャート」を使い、毎日2時間以上利用しているもの、2時間以内の利用のもの、1時間以内のものに振り分け、自身の利用状況を俯瞰できるようにする。 【めあて】自分にあったメディアバランスを考えよう。	STEAM ライブラリー 資料「メディアの使い方、自分でバランスをとるには？」	
展開	さぐる 2 お家の人は、自分のメディア利用に対し、どのような点に心配しているのかを予想する。 見付ける 3 自分が最適だと思うメディアバランスを考える。	○メディアバランスについて説明をする。 ○親の思いと、自分がメディア利用をすることの目的や意味、価値にはすれ違いがあり、折り合いをつけていくことの大切さに気が付くことができるようにする。 ○メディアバランスは、以下4点を踏まえて考えるようにする。 ・健康に生活するためにメディアをバランスよ		

	く使う。 ・なにをいつどのように使うか、自分の気持ちはどうなるのか。 ・一人一人が違ってよい。 ・メディアを使わない選択もある。 ○意見交換をする前に、交流する視点を確認する。 ○修正改善は、消しゴムで消さず、赤で消したり、書き加えたりする。		
終末	決める 4 今後メディアバランスをとって行動するために、気を付けることを記入する。	○書いたワークシートを持ち帰り、お家の人と一緒に考える場を設ける。	◎メディアバランスのとれた生活のためにできる工夫について考えている。【思】 (ワークシート)

9. 板書計画

メディアの使い方、自分でバランスをとるには？めあて自分にあったメディアバランスを考えよう。

大切なこと 〈メディア〉 〈お家の人へ...〉 ◎もっともすばらしい ◎意見交流で
メディアバランスを考える 気が付いたこと

	・テレビ ・ゲーム ・スマホ ・本 ・タブレット ・ラジオ	・健康 ・時間 ・マナー ・友達とのやり取り ・勉強

10. 事後の取り組み

本時の学習内容を学校ホームページや学級通信に掲載し、家庭に周知を図る。また、児童が書いたワークシートを持ち帰り、お家の人からコメントをもらうようにし、お家の人と一緒に考える場を設けるようにする。

年間指導計画表 (関連単元配列表)

令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力
重視する情報活用能力

多面的に考える力

場に応じた表現力(情報活用)

根拠に基づく判断力

相手に伝わるように実物、写真、動画等を活用して、工夫して表現する。

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

※場に応じた表現力

勇気ある行動力

法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢

相手意識をもって、情報を利用するときの基本的なルールとマナーを守って行動する。

1年

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月	時	8月	時	9月	時	10月	時	11月	時	12月	時	1月	時	2月	時	3月	時数	標準時数		
行事		始業式・入学式 町別集会 交通安全教室 検診 参観・懇談会 家庭訪問		1年生を迎える会 遠足 全国学テ 検診		山の家 参観・懇談会		個人懇談会 終業式		始業式 Jプロ、ブレJ		参観 検診		スポーツフェスティバル 修学旅行 大文学予選会		就学時検診		参観(人権と音楽の集い) 個人懇談会 終業式		始業式 科学C学習 Jプロ、ブレJ		参観・懇談会		6年生を送る会 参観・懇談会 卒業式 修了式				
国語		2 いい てんき 2 おはなし たのしいな 1 あつまって はなそう 1 えんぴつと なかよし 3 どうぞ よろしく 2 なんて いおうかな 2 ごんな もの みつけたよ 2 うたに あわせて あいうえお 1 こえに だして よもう 2 ききたいな、ともだちの はなし 2 たのしいな、ことばあそび 6 はなの みち		2 としょかんへ いこう 2 かきと かぎ 4 ふんを つくろう 2 ねこと ねっこ 3 わけを はなそう 2 おばさんと おばあさん 9 くちばし 2 おもちやと おもちや		3 あいうえおで あそぼう 6 おおきく なった 6 おおきな かぶ 3 はをへを つかおう 2 好きな もの、なかに 5 おむすび ころりん		2 としょかんと なかよし 8 ごんな ことが あったよ 2 こえに だして よもう 3 ききたいな、ともだちの はなし 2 たのしいな、ことばあそび 8 やくそく 2 かたかなを みつけよう				9 うみの かくれんぼ 4 かずと かんじ 8 くじらぐも 12 しらせたいな、見せたいな		2 まちがいを なおそう 2 ことばを たのしもう 6 かん字の はなし 8 じどう車くらべ 7 じどう車ずかんを つくろう		2 かたかなを かこう 9 ともだちの こと、しらせよう 8 むかしはなしを よもう／おかゆの おなべ 7 ものの 名まえ		1 わらしべちょうじや 3 日づけと よう日 8 てがみで しらせよう 2 こえに 出して よもう 3 ききたいな、ともだちの はなし 2 たのしいな、ことばあそび 8 たぬきの 糸車 3 かたかなの かたち		8 ことばを 見つけよう 11 どうぶつの 赤ちゃん 5 これは、なんでしょう 8 ずうっと、ずっと、大すぎだよ		3 にて いる かん字 12 いい こと いっぱい、一年生				272	276	
書写		1 がっこうの もじたんけん 1 はじめの がくしゅう 1 せんの おわりの かきかた(ひらがな)		1 かきじゅん(ひらがな) 1 じを かきはじめる ところ(ひらがな) 2 せんの とちゅうの かきかた(ひらがな)		2 にて いる ひらがな(ひらがな)		1 ますめの なかの かくところ(ひらがな) 1 じの かたち(ひらがな)				1 ひらがなの ひょう 3 かたかなの がくしゅう		2 かくの おわりの かきかた(かん字) 2 文字の かたち(かん字)		2 かくの とちゅうの かきかた(かん字) 2 文字の かたち(かん字)		2 かきじゅん(かん字) 3 かきぞめ(かん字)		3 かきぞめ(かん字)		2 かくの ながさと ほうこう(かん字)		2 かいて つたえあおう 2 学しゅうの まとめ 1 しりたい 文字の せかい 1 かん字の ひょう		34	30	
算数		3 どきどきがっこう 7 1 かずとすうじ 3 2 なんばんめ		7 3 いくつといくつ 3 4 いろいろなかたち 2 ふくしゅう 1 5 ふえたりへったり 7 6 たしざん(1)		2 ふくしゅう 10 7 ひきざん(1)		1 8 かずしらべ 2 ふくしゅう 8 9 10よりおおきいかず				2 ふくしゅう 1 10 なんじなんじはん 5 11 おおきくらべ(1) 4 12 3つのかずのけいさん 2 ふくしゅう じゅんび		9 13 たしざん(2) 5 14 かたちづくり		2 ふくしゅう 11 15 ひきざん(2)		2 16 0のたしざんとひきざん 3 17 ものとひとのかず 1 ものの いち 2 ふくしゅう 13 18 大きいかず		2 19 なんじなんぶん 1 20 おなじかずずつ 1 たすのかな ひくのかな 2 ふくしゅう 4 21 100までのかずのけいさん		2 22 おおいほう すくないほう 1 23 大きくくらべ(2) 1 かえますか？かえませんか？ 4 もうすぐ2年生				136	136	
生活		4 あたらしい いちねんせい 17 なかよし いっぱい だいさくせん		15 さかせたいな わたしの はな 7 なつだ とびだそう				9 いきものとなかよし		16 あきと いっしょに		10 みんなの にこにこ 大さくせん		10 ふゆと ともだち		14 もう すぐ みんな 2ねんせい									102	102		
目指す子どもの姿		表現力 (話し方・聞き方) 相手に伝わるように実物・写真・動画 等を活用して、工夫して表現する。 友達の話を徹底的に大切に聞く。					情報活用能力 (情報の整理分析) 自分の考えを記録す					情報機器操作 自分の力でログインする。 写真撮影ができる。																
音楽		4 1 うたって おどって なかよくなろう 6 2 はくを かんじとろう		8 3 はくに のって リズムを うとう 3 4 の まわりの おとに みを すまそう		3 うみ 3 4 の まわりの おとに みを すまそう		10 5 どれみと なかよくなろう				6 6 せんりつで よびかけあおう 6 7 がっきと なかよくなろう		7 8 ようすを おもいうかべよう 4 9 にほんの うたを たのしもう 11 10 みんなで あわせて たのしもう											68	68		
図工		2 かきたい もの なあに 4 ちよきよき かざり 2 ひもひも ねんど		2 すなや つちと なかよし 4 やぶいた かたちから うまれたよ 2 ごちそう パーティー はじめよう!		4 みて みて あのね 4 おって たてたら		2 べったん コロコロ 2 カラフル いちみず 4 いろいろな かたちの かみから				4 ひらひら ゆれて 4 おはなしから うまれたよ 4 いろいろな かたちの かみから		2 いっぱい つかって なにしよう 4 かざって なにに いれよう		2 でこぼこ はっけん! 2 はこで つくったよ		4 のって みたいな いきたいな 2 ならべて ならべて 3 かみざら コロコロ		2 すきまちゃんの すきな すきま 2 いっしょに おさんぽ		6 1 によきにき とびだせ 4 うつした かたちから			76	68		
体育		2 からだほぐしのうんどうあそび 3 ゆうぐで あそぼう 5 ボールあそび・まねっこあそび		6 てっぼうあそび 2 新体力テスト		3 フォークダンス 3 ようぐあそび		12 みずあそび 7 マットあそび				4 とびあそび 6 かけっこリレーあそび		7 とびばこあそび 4 とびあそび 6 かけっこリレーあそび		4 からだほぐしのうんどうあそび(2)・なわとび(1) 3 じんとりあそび 5 むしになって		6 ころがしドッジボール 8 パスゲーム		4 ゆっくりかけあし・なわとび(2)		4 リズムあそび		8 ボールけりゲーム			102	102
道徳		1 1 たのしい がっこう 1 2 うまれたての いのち 1 3 ありがとう		1 4 ゆうたの へんしん 1 5 なにを して いるの かな 1 6 「ありがとう」「ごめんなさい」 1 7 つばめ		1 8 あとかたづけ 1 9 もりの ぶれげんと 1 10 ぞうさんと おともだち 1 11 どうしてかな		1 12 にっぽんの おかし 1 13 オリンピック・パラリンピック				1 14 はしの うえの おおかみ 1 15 かずやくんの なみだ 1 16 ひつじかいの こども		1 17 そろって いるけど 1 18 かほちやの つる 1 19 どんな あいさつを しますか 1 20 わたしが おねえさんよ		1 21 にんじんばたけで 1 22 おふろばそうじ 1 23 二わの ことり 1 24 学校の かえりみち		1 25 おかあさんの つくった ほうし 1 26 おおひとやま 1 27 うちゅうせんしに のって		1 28 やめろよ 1 29 あなたって どんな 人？ 1 30 はしれ、さんりくてつどう		1 31 休みじかん 1 32 120てんの そうじ 1 33 花の かんむり 1 34 ハムスターの 赤ちゃん		1 学校へ いく とき			35	34
英語活動										5 Unit 1 えいごとなかよし															10	10		
特活		4 安全指導 2 誕生日会 1 掃除指導 1 給食指導		2 安全指導 2 誕生日会		1 安全指導 2 誕生日会 1 人権教育		2 安全指導 2 誕生日会		1 安全指導		1 安全指導 2 誕生日会 1 人権教育		1 安全指導 2 誕生日会 2 誕生日会		1 安全指導 2 誕生日会 1 人権教育		2 安全指導 2 誕生日会 1 人権教育		1 安全指導 2 誕生日会		1 安全指導 2 誕生日会			47	34		
ICT活用		O ZoomやTeams等の経験				O 電源を入れ、ID・PWでサインイン O アプリ等を終了し、シャットダウン O タップによる操作		O 写真を記録 O 指やタッチペンで文字や絵をかく O マウスやタッチパッドによる操作 O 写真等の編集や記録を行う O [≡]ドリルパークへのログイン				O 動画を記録 O 音声を記録		O [O]「ノート」や「カード」の取り出し O [O]「ノート」や「カード」の提出 O [O]「ノート」や「カード」の保存		O 五十音順ソフトキーボードで文字入力 O キッズ用サイトでタップして検索 O キッズ用サイトでキーワード検索 O HPのお気に入り登録 O [≡]ドリルパーク宿題配信									0			
活用(一学期)の時																									0			
時数		102		97		81		75		1		96		85		86		82		90		59		28	882	860		
時準		67		76		92		63		21		84		88		84		76		63		76		71	861			

令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力
重視する情報活用能力

多面的に考える力
場に応じた表現力(情報活用)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

根拠に基づく判断力

※場に応じた表現力

相手に伝わるように実物、写真、動画等を活用して、工夫して表現する。

勇気ある行動力

法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢

相手意識をもって、情報を利用するときの基本的なルールとマナーを守って行動する。

2年

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月	時	8月	時	9月	時	10月	時	11月	時	12月	時	1月	時	2月	時	3月	時数	標準時数	
行事		始業式・入学式 町別集会 交通安全教室 検診 参観・懇談会 家庭訪問		1年生を迎える会 遠足 全国学テ 検診		山の家 参観・懇談会		個人懇談会 終業式		始業式 Jプロ、ブレ」		参観 検診 自由研究発表会		スポーツフェスティバル 修学旅行 大文字予選会		就学時検診		参観(人権と音楽の集い) 個人懇談会 終業式		始業式 科学C学習 Jプロ、ブレ」 学習発表会		参観・懇談会		6年生を送る会 参観・懇談会 園工展 卒業式 修了式			
国語	1	じゅんばんに ならぼう／つづけて みよう	2	いなばの 白うさぎ	2	うれしい ことば	9	あったらいいな、こんなもの	2	雨のうた	2	かん字のひろば②	2	かん字のひろば③	9	そうだんにのってください	12	わたしはおねえさん	2	ねこのこ／おとのほなびら／ぼんたいことば	8	見たこと、かんじたこと	14	すてきなところをつたえよう			
	11	ふきのとう	12	たんぽぽの ちえ／じょうほうじゅんじょ	2	かん字の ひろば①	2	夏が いっぱい	4	ことばでみちあんない	14	どうぶつ園のじゅうい	2	主語と述語に 気をつけよう	16	馬のおもちやの作り方／おもちの作り方をせつめい	12	お話のさくしやになろう	2	にたいみのことば、はんたいのいみのことば	9	楽しかったよ、二年生					
	2	春が いっぱい	12	かんさつ名人に なろう	11	スイミー	2	かたかなの ひろば	3	【じょうほう】メモを とる とき	2	ことばあそびをしよう	2	かん字の読み方	2	かたかなで書くことば	2	冬がいっぱい	2	かん字の広場⑤	2	カンジーはかせの大はつめい					
	6	きょうの できごと	2	同じ ぶぶんを もつ かん字	3	【じょうほう】メモを とる とき	2	かたかなの ひろば	3	【じょうほう】メモを とる とき	2	ことばあそびをしよう	2	かん字の読み方	2	かたかなで書くことば	2	冬がいっぱい	2	かん字の広場④	2	カンジーはかせの大はつめい					
	4	ともだちを さがそ	2	同じ ぶぶんを もつ かん字	3	【じょうほう】メモを とる とき	2	かたかなの ひろば	3	【じょうほう】メモを とる とき	2	ことばあそびをしよう	2	かん字の読み方	2	かたかなで書くことば	2	冬がいっぱい	2	かん字の広場④	2	カンジーはかせの大はつめい					
																									280	285	
書写	1	町の 文字たんけん／もくじ	3	画の 方こう(かたかな)	2	レッツ・トライ(メモの とり方)	2	書きじゅん(かん字)	3	画の 長さ、画と画との 間(かん字)	2	画の つき方と交わり方(かん字)	3	文字の 中心(かん字)	3	文字の 中心(かん字)			2	文字の 形(かん字)	4	書いて つたえ合おう	2	学しゅうの まとめ			
	1	はじめての 学しゅう			1	レッツ・トライ(よく書きの 書き方)	4	画の 方こう(かん字)							5	年がじょうと 書きそめ(かん字)									58	30	
算数	1	わくわく算数学しゅう	10	4 長さ	1	ふくしゅう	7	7 がさ	11	たし算とひき算のひっ算(2)	3	図をつかって考えよう(2)	3	9 しきと計算	1	ふくしゅう	2	図をつかって考えよう(3)	9	13 九九のきまり	1	ふくしゅう	5	17 分数			
	4	1 ひょうとグラフ	12	5 たし算とひき算のひっ算(1)	6	図をつかって考えよう(1)	1	どんな計算になるのかな(1)			17	10 かけ算(1)	14	11 かけ算(2)	14	11 かけ算(2)	1	どんな計算になるのかな(2)	7	14 100cmをこえる長さ	8	15 1000をこえる数	1	何番目			
	5	2 時ごとと時間			12	6 100をこえる数	4	算数のじゅうけんきゅう					11	12 三角形と四角形	11	12 三角形と四角形	1	買えますか？ 買えませんか？			6	16 はこの形	3	もうすぐ3年生			
	6	3 たし算とひき算					2	ふくしゅう									2	ふくしゅう							175	175	
生活	2	さあ、きょうから 2年生			12	小さな友だち		小さな友だち			20	あそんで ためして くふうしよう	22	もっともっとまちなんけん			もっともっとまちなんけん			もっともっとまちなんけん	20	ひろがれ わたし		ひろがれ わたし			
	13	まちをたんけん大はっけん																								105	105
	16	ぐんぐん そだておいしい やさい																									
目指す子どもの姿																											
音楽	4	1 音楽で みんなとつながろう	6	2 はくの まとまりを かんじとろう	10	3 ドレミで あそぼう	4	4 せいかつの中に ある 音を 楽しもう	2	虫の こえ	9	5 リズムを かきねて 楽しもう	5	6 くりかえしを 見つけよう	7	いろいろながっきの 音を さがそう	8	ようすを おもいうかべよう	4	9 日本の うたで つながろう	11	10 みんなで あわせて 楽しもう					
図工	2	おはなみスケッチ	4	わっから へんしん	2	しんぶんしとなかよし	6	まどからこんにちは	6	ことばのかたち(お話の絵)	4	パタパタ ストロー	2	つないでつるして	6	わくわく おはなし ゲーム	2	だんボールに入ってみると！	4	たのしく うつして	6	音づくり フレンズ	4	たのしかったよ どきどきしたよ			
	2	ひかりの プレゼント	4	ふしぎな たまご	4	とろろえのぐでかく	2	いろの見えかたむげん	2	いろの見えかたむげん	2	つないでつるして	2	つないでつるして	2	おもいでをかたち											
	2	にぎにぎねん土																									
体育	4	体ほぐしのうんどうあそび	2	新体力テスト	6	スイミー	12	水あそび	4	なぜあそび・まねっこあそび	7	とびうであそび	6	リレーあそび	6	バスゲーム(1)	6	ボールけりゲーム(1)	4	ゆっくりかけあし・なわとび	8	バスゲーム(2)	8	ボールけりゲーム(2)			
	5	てつぼうあそび	3	ゆうぐであそぼう	3	マットあそび			3	ようぐあそび	5	とびうであそび	5	リズムあそび	4	おにあそび・ずもうあそび											
道徳	1	1 大きく なったね	1	4 本がかりさん がんばって いるね	1	8 ーりん車	1	12 タヒチからの 友だち	1	12 花火に こめられた ねがい	1	14 るっぺ どう したの	1	17 お月さまと コロ	1	21 きつねと ぶどう	1	25 わたしたちの 校歌	1	28 どうして ないてるの	1	30 ある 日の くつばこで	1	34 森の ゆうびん屋さん			
	2	2 金の おの	1	5 おおげない りすさん	1	9 ありがとうって 言われたよ	1	13 花火に こめられた ねがい	1	13 花火に こめられた ねがい	1	15 いいところ みつけた	1	18 さて、どうかな	1	22 おばあちゃん お元気ですか	1	26 やくそく	1	29 ぐみの木と 小鳥	1	31 七つの 星	1	35 生きて いるから			
	3	3 ぼんたど かんた	1	6 三びきは 友だち	1	10 あぶないよ	1	11 ぎおんまつり	1	11 ぎおんまつり	1	16 虫が 大きい -アンリ・ファーブル-	1	19 わりこみ	1	23 くりの み	1	27 きまりの ない 学校									
英語活動																											
特活																											
ICT活用																											
表現力(話し方・聞き方)																											
時数		96		83		91		67		32		56		94		115		48		55		113		40		913	925
標準		72		81		99		68		23		90		95		90		81		68		81		77		925	

※標準時数を超過する単元がある場合は3月に表示します。

※凡例 ◎…当該学年で習得する操作 ○…当該学年で体験する操作 【ロ】…ロイロノート、【T】…Teams、【Z】…Zoom ★…実践事例報告あり ☆ロ…ロイロノートでの実践・ワークシート等あり (R4)…令和4年度 (例：☆ロR4…令和4年度にロイロノートの活用)

令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力
重視する情報活用能力

多面的に考える力
場に応じた表現力(情報活用)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

根拠に基づく判断力

※場に応じた表現力

相手や目的に応じて、プレゼンテーション等の表現方法を選択し、表現する。

勇気ある行動力

法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢

相手への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

3年

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月	時	8月	時	9月	時	10月	時	11月	時	12月	時	1月	時	2月	時	3月	時	時数	標準時数	
行事		始業式・入学式 町別集会 交通安全教室 検診 参観・懇談会		1年生を迎える会 遠足 全国学テ 検診		山の家 参観・懇談会		個人懇談会 終業式		始業式 Jプロ、ブレJ		参観 検診		スポーツフェスティバル 修学旅行 大文字予選会		就学時検診 学習発表会(3・4年)		音楽・人権の集い 個人懇談会 終業式		始業式 科学C学習 Jプロ、ブレJ		参観・懇談会		6年生を送る会 参観・懇談会 卒業式 修了式				
国語		1 よく聞いて、じこしようかい 1 どきん／つづけてみよう 8 きつつきの商売 4 ローマ字 1 図書館たんていだん 2 国語辞典を使おう 2 漢字の広場①		2 春のくらし 2 漢字の音と訓 6 もっと知りたい、夏だものこと／【コラム】読みかいつたえるために 2 漢字の広場②		3 【じょうほう】引用するとき 8 夏だものこと／【コラム】読みかいつたえるために 6 まいごのかぎ 2 ポスターを読もう 2 漢字の広場③ 1 俳句を楽しもう 2 こてあど言葉を使いこなそう		13 仕事のくふう、見つけたよ／【コラム】読みかいつたえるために 2 夏のくらし 5 はじめて知ったこと／【コラム】読みかいつたえるために 4 山小屋で三日間すごすなら		2 へんとつくり 2 わたしと小島とすず／夕日がせなかをおおている 10 ちいちゃんのかげおくり 2 修飾語を使って書こう 2 秋のくらし		9 はんで意見をまとめよう 2 漢字の広場④ 16		4 こたわさ・故事成語 2 漢字の意味 1 短歌を楽しもう 2 漢字の広場⑤ 6 三年とうげ		11 たから島のぼうけん 2 冬のくらし 5 つたわる言葉で表そう 4 詩のくふうを楽しもう 2 カンジーはかせの音訓かるた 2 漢字の広場⑥		7 ありの行列 5 つたわる言葉で表そう 13 これがわたしのお気に入り		9 わたしたちの学校じま 12 モチモチの木 7 気もちをこめて「来てください」						210	215	
書写	情報	単元を大幅に入れ替えてローマ字の単元を先に指導した。指導後は隙間時間や帯学習などにタイピング練習		2 帯学習がめあつたよ「学習の進め方」はじめての学習 2 「横画」の筆使い		2 「たて画」の筆使い 3 「はらい」の筆使い 3 帯学習「はらい」		1 レッツ・トライ(はがき)		1 レッツ・トライ(原こう用紙、カ)		3 ひらがなの筆使い(こう筆の学習 筆順と字形)		1 レッツ・トライ(文化) 1 レッツ・トライ(手紙) 3		4 書きぞめ		4 点画のしゅいり／学習のまとめ								30	30	
社会		5 学校のまわりの様子		12 京都市の様子		13 商店のはたらき								10 工場をつくられるもの／農家をつくられるもの		13 京都市の様子とくらしのうつりか				8 事故や事件をふせ		9 火事を防ぐ				70	70	
算数		1 わくわく算数学習 5 1九九の表とかけ算 11 2 わり算		2 図を使って考えよう 10 3 たし算とひき算の筆算 1 ふく習 4 4 時ごとと時間		13 5 一万をこえる数 10 6 表とグラフ		4 7 たし算とひき算 1 とく／計算になるのかな 1 算数の自由研究		1 ふく習 8 長さ		9 9 あまりのあるわり算 9 10 重さ		1 ふく習 9 11 円と球 4 12 何倍でしょう 2 13 計算のじゅんじょ		13 14 1けたをかけるかけ算の筆算 3 15 式と計算 11 16 分数		2 問の数 1 算数ラボ 1 ふく習		9 17 三角形 11 18 小数 1 ふく習		6 19 2けたをかけるかけ算の筆算 5 20口を使った式		2 そろばん 1 買えますか？ 買えませんか？ 2 みらいへのつばさ 3 もうすぐ4年生			175	175
理科		4 1 しぜんのかんさつ 5 2 植物の育ち方(1)たねまき		10 3 こん虫の育ち方 2 植物の育ち方(1)たねまき		2 植物の育ち方(2)葉・くき・根 7 4 ゴムや風の力		6 5 音のふしぎ 2 植物の育ち方(3)花 2 じゅうけんきゅう		4 植物の育ち方(4)花がさいた後 5 6 動物のすみか		10 8 地面のようすと太陽 7 9 太陽の光		9 10 電気の通り道		8 11 じしゃくのふしぎ		6 12 ものの重さ		3 おもちゃショーを開こう						90	90	
総合		2 地域の伝統文化について考える		4 剣鋒体験		4 和太鼓体験		4 茶道体験		4 剣鋒体験		4 和太鼓体験		4 茶道体験		6 発表練習		2 今までを振り返って		4 能体験 7 能について		4 能についてまとめ 2 総合を振り返ろう					70	70
目指す子どもの姿																												
音楽		2 1 音楽で心をつなげよう 8 2 歌って音の高さをかんじとろう		6 3 リコーダーのひびきをかんじとろう				6 4 拍のつとリズムをかんじとろう		1 うさぎ		8 5 せんりつとくちょうをかんじとろう 曲を聴いて感じとったことをふせんに表し、		7 6 曲のかんじを生かそう		10 7 いろいろな音のひびきをかんじとろう		5 8 ちいさなつたわる音楽でつた		7 9 音の重なりをかんじて合わせよう							60	60
図工		2 絵のぐ+水+ふで=いかにんじ！ 2 切ってかき出しくっつけて		4 カラフルフレンド 2 ふき上がる風にのせて		4 わたしの6月の絵 4 くるくるランド 4 み近なしぜんの形・色		2 ベタバタひらくと		7 ことばから形・色 言葉をふせん1枚につき、1項目を大きく書くことを継続して指導した。		2 ゴムゴムバウ 1 アートカードを使って		1 かいてみよう 2 ねん土マイタウン 2 小さな自分のお気に入り		5 あの日あの時の気もち		8 いろいろうつして		4 空きようきのへんしん 2 ひらいて広がるふしぎなせかい 2 クミクミックス		2 ひもひもワールド 4 くぎうちトントン				66	60	
体育		4 体ほぐしの運動 6 てつぽう運動		2 新体力テスト 8 マットうんどう		12 水泳運動 4 健康な生活		6 はばとび		8 とび箱運動		6 リズムダンス 3 フォークダンス 6 ようぐあそび(プレアースポーツ)		6 ハンドベースボール 6 はばとび		8 ポートボール		4 なわとび ゆっくりベース走		8 エンドボール		8 サッカー					105	105
道徳		1 1 赤ちゃんもごはん食べてるよね 2 もっと調べたかったから 3 おじいちゃんとの楽しみ		1 4 きいてるかいオルタ 1 5 心をしずめて 1 6 さと子の落とし物 1 7 足りない気持ちは何だろう		1 8 ちゃんと使えたのに 1 9 あこがれの人 1 10 ふろしき 1 11 同じ小学校でも		1 12 ごめんなね、サルビアさん 1 13 学級しようかい		1 14 どんどん橋のできごと 1 15 みんなのわき水 1 16 お母さんの「ふふふ」 1 20 うまくないたいけれど		1 17 お父さんからの手紙 1 18 たからさがし 1 19 同じなからだから 1 20 うまくないたいけれど		1 21 お母さんのせいきゅう書 1 22 バスの中で 1 23 まどガラスと魚 1 24 木の中にバットが見える		1 25 いつもありがとう 1 26 「おもてなし」ってなあに 1 27 いちばんうれしいこと		1 28 助かった命 1 29 れいぎ正しい人 1 30 ぼくのボールだ		1 31 ダブルブックキング 1 32 たつきゅうは四人まで 1 33 ぼくを動かすコントロール		1 34 ジュースのあきかん 1 35 光の星				32	35	
外国語		2 1 Hello! 2 2 How are you?		2 2 How are you?		4 3 How many?		4 4 I like blue.		4 5 What do you like 単元終末の活動で使うカードをロイロノートで		4 6 ALPHABET		5 7 This is for you.		5 8 What's this?		5 9 Who are you?								37	35	
特活		1 安全指導		1 安全指導 1 係活動を見直そう 3 自転車教室		1 安全指導 1 係活動をふりかえろう 1 夏休みのくらし		1 安全指導 1 係活動を決めよう 2 お楽しみ会をし		1 安全指導 1 自由研究発表会		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 スポーツフェスティバルのふりかえり		1 安全指導 1 係活動をふりかえろう 1 冬休みのくらし		1 安全指導 1 係活動を決めよう 1 三学期のめあてを決めよう 2 お楽しみ会をし		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 性に関する指導		1 安全指導 1 係活動をふりかえろう 1 お楽しみ会をし						35	35	
情報活用能力		1 Oマウスやタッチパッドによる操作 1 O【ロ】写真等の編集や記録を行う O【ロ】マイフォルダの管理		2 Oキーボードによる文字入力(ローマ字) Oタイピングソフトを使う		1 OHPのお気に入り登録 OHPのショートカット作成 O検索サイトでキーワード検索 O複数のキーワードや条件を工夫して検索		1 OZoomやTeams等へ主体的に参加 O【Z/T】音量・背景等の調整																				
情報機器操作																												
活用(～の時間)																												
時数		84		92		117		65		23		119		97		108		57		105		97		22		980	980	
時準		77		86		105		72		24		96		100		96		86		72		86		81		981		

令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力
重視する情報活用能力

多面的に考える力
場に応じた表現力(情報活用)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

根拠に基づく判断力

相手や目的、意図に応じて適切な複数の表現手段を組み合わせ、相手とのやり取りを含めて表現する。

※場に応じた表現力

勇気ある行動力

法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢

他人や社会への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

5年

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月	時	8月	時	9月	時	10月	時	11月	時	12月	時	1月	時	2月	時	3月	時数	標準時数	
行事		始業式・入学式 町別集会 交通安全教室 検診 参観・懇談会 家庭訪問		1年生を迎える会 遠足 全国学テ 検診		山の家 参観・懇談会		個人懇談会 終業式		始業式 Jプロ、ブレJ		参観 検診		スポーツフェスティバル 修学旅行 大文字予選会		就学時検診		参観(人権と音楽の集い) 個人懇談会 終業式		始業式 科学C学習 Jプロ、ブレJ		参観・懇談会		6年生を送る会 参観・懇談会 卒業式 修了式			
国語		1 教えて、あなたのこと 1 かんがえるのって おもしろい／続けて 4 なまえつけてよ 1 図書館を使いこなそう 2 漢字の成り立ち 2 春の空 6		1 漢字の広場① 7 見立てる／言葉の意味が分かること／【情報】見立てる 2 和語・漢語・外来語 2		3 日常を十七音で 2 古典の世界(一) 2 【情報】目的に応じて引用する 10 みんなが過ごしやすい町へ 10		2 同じ読み方の漢字 2 夏の夜 5 作家で広げるわたしたちの読書／カラーレイス 5		1 からたちの花 2 どちらを選びますか 3 新聞を読もう 3 敬語 6 たずねびと 6		1 漢字の広場② 2 漢字の読み方と使い方 2 秋の夕暮れ 6		1 漢字の広場③ 11 古典芸能の世界一語りで伝える 2 カブ・ジュー博士の暗号解読 6		1 古典の世界(二) 1 漢字の広場④ 5 やなせたかしーアンパンマンの 6 あなたは、どう考える 6 想像力のスイッチを入れよう 6		2 冬の朝 2 生活の中で詩を楽しもう 2 方言と共通語 1 漢字の広場⑤ 6 想像力のスイッチを入れよう 6		2 複合語 3 伝わる表現を選ぼう 7 この本、おすすめします 6 提案しよう、言葉とわたしたち 6		1 日本語の表記 1 漢字の広場⑥ 6 大造じいさんとガン 6			145	145	
書写		1 漢字に合わせた書き方のくふう／5年生で学習すること 1 はじめの学習		3 文字の組み立て方(中と外) 1 レッツ・トライ(文化)		3 文字の組み立て方(中と外) 1 レッツ・トライ(文化)		3 筆順と字形・硬筆の学習 筆順と字形		1 レッツ・トライ(メモ) 2 文字の大きさ(漢字どうし) 2 文字の大きさ(漢字と平仮名)		2 文字の大きさ(漢字どうし) 2 文字の大きさ(漢字と平仮名)		3 穂先の動きと、線のつながり 1 レッツ・トライ(ポスター)		2 用紙に対する文字の大きさと配列 3 書きぞめ		4 学習のまとめ							30	30	
社会		5 世界の中の国土 3 国土の地形の特色 5 低い土地のくらし/高い土地のくらし		3 国土の気候の特色 4 あたためやすい土地のくらし/寒い土地のくらし		5 暮らしを支える食料生産 8 米づくりのさかんな地域		7 水産業のさかんな地域		5 これからの食料生産とわたしたち 4 暮らしを支える食料生産 7 自動車をつくる工業		5 これからの食料生産とわたしたち 4 暮らしを支える食料生産 7 自動車をつくる工業		5 工業生産を支える輸送と貿易 5 これからの食料生産とわたしたち		7 情報産業とわたしたちのくらし 9 情報を生かす産業と情報を生かすわたしたち		9 情報を生かす産業と情報を生かすわたしたち 6 わたしたちの生活と森林		6 自然災害を防ぐ 6 わたしたちの生活と森林		6 環境を守るわたしたち 6 わたしたちの生活と森林			100	100	
算数		1 わくわく算数学習 5 1 整数と小数 10 2 体積 2 3 比例		2 復習 12 4 小数のかい算 15 5 小数のわり算		12 6 合同な図形 1 1 整数		1 人文字 1 1 整数 1 算数の自由研究		1 復習 11 7 整数		10 8 分数(1) 2 図を使って考えよう 1 復習		14 9 面積 7 10 平均と割合の利用 5 11 単位量あたりの大きさ 6 12 数の性質 13 割合		2 表を使って考えよう(1) 2 宛帳もりを使って 1 復習 8 14 円と正多角形		7 15 図のグラフ 1 復習 6 16 角柱と円柱		7 17 速さ 4 18 変わり方		2 表を使って考えよう(2) 2 算数ラボ 2 みらいへのつばさ 3 もうすぐ6年生			175	175	
理科		10 1 天気と情報(1) 天気の变化 4 6年生から引き継いだものは何か調べよう		12 2 生命のつながり(1) 植物の発芽と成長 5 お米を育てよう		9 3 生命のつながり(2) メダカのたんじょう 5 お米を育てよう		5 4 天気と情報(2) 台風と防災 自由研究		14 5 水と気候 6 おいしいお米を育てよう		13 7 月のめとけ力 10 8 スリニの動き		13 7 月のめとけ力 10 8 スリニの動き		12 9 電磁石の性質		9 10 生命のつながり(4) 人のたんじょう		1 6年の学習の準備					105	105	
総合		4 6年生から引き継いだものは何か調べよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう		5 お米を育てよう						40	70
目指す子どもの姿																											
音楽		4 1 歌声をひびかせて心をつなげよう		6 2 音の重なりを感じ取ろう		3 いろいろな音色を感じ取ろう						6 4 和音の移り変わりを感じ取ろう		7 5 曲想の変化を感じ取ろう		6 6 詩と音楽の関わりを味わおう		6 7 日本の音楽に親しもう		8 8 思いを表現に生かそう						50	50
図工		2 絵の具のスケッチ 2 心に残ったあの時あの場所		4 のぞいてみると		6 わくわくブレイランド						2 水から発見！こきれい！ 4 言葉から思いを広げて		2 あんたどこから来たの？ 2 立ち止まれ！ワイヤーアート		6 使って楽しい焼き物 2 光と場所のハーモニー		2 消してかく 4 ほり進めて刷り重ねて 2 わたしのいい形 8 伝え合いたい思い		2 心のもよう 2 カードを使って 6 形が動く 絵が動く 4 糸のこすいすい		4 まだ見ぬ世界 4 でこぼこの絵 6 ミラクル！ミラーステージ			78	50	
家庭		1 ガイダンス 4 1 私の生活、大発見！		7 2 おいしい楽しい調理の力		9 3 ひと針に心をこめて						7 4 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方		11 5 食べて元気！ご飯とみそ汁		7 6 物を生かして住みやすく		2 7 気持ちがつながる家族の時間		11 8 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活		1 5年生のまとめ			60	60	
体育		4 体ほぐしの運動(1)・バウアップ体操 6 リレー		2 新体力テスト		5 ベースボール 3 心の健康		12 水泳運動				6 表現「自然のい力」		4 体ほぐしの運動(2)・鉄ぼう運動 6 走りはばとび		6 マット運動 8 バasketボール		3 フォークダンス 5 なわとび・ジョギング		8 とび箱運動		5 けがの防止		7 ソフトバレーボール		90	90
外国語		6 Let's start!/Hello, everyone./Alphabet Time1		6 2 When is your birthday?/Alphabet Time2		1 パフォーマンスチャレンジ 3 What do you have on Monday?/Alphabet Time3		1 Review 世界の友達 1		1 パフォーマンスチャレンジ 3 He can run fast. She can do kendama./Fun Time2		8 4 What time do you get up?/Fun Time3 5 He can run fast. She can do kendama./Fun Time2		6 6 I want to go to Italy./Fun Time4 7 What would you like?/Fun Time4		1 パフォーマンスチャレンジ 1 言葉について考えよう/Review 世界の友達		8 8 Where is the gym?/Fun Time5 9 My hero is my brother./Fun Time6		1 パフォーマンスチャレンジ 1 Review 世界の友達 3			70	70			
道徳		1 1 のび太に学ぼう 2 「命」 3 あいさつ運動		1 4 マンガ家・手塚治虫 1 5 やさしいユウちゃん 1 6 通学路 1 7 美しい夢 一ゆめぴりかー		1 8 ソフトボールに感謝しを 一上野田敏子 1 9 サタデーグループ 1 10 ひとふみ十年 1 11 母さんの歌		1 12 ぼくたちの夏休み自由研究 1 13 古いバケツ		1 14 和太鼓調べ 1 15 のりづけされた詩 1 16 真由、班長になる 1 20 ヘレンと共に ーアニー・サリバンー		1 17 名前のない手紙 1 18 折れたタワー 1 19 住みよいマンション 1 20 ヘレンと共に ーアニー・サリバンー		1 21 父の仕事 1 22 流行おくれ 1 23 家族のために		1 24 命の線を結ばない 一絶方洪庵一 1 25 ベルーは泣いている 1 26 くずれ落ちただんボール箱		1 27 森の絵 1 28 天から送られた手紙 1 29 すれちがい		30 知らない間のできごと 31 うばわれた自由 32 マインツからの便り		33 ながらって…… 34 これって不公平？ 35 かぜのでんわ			32	35	
特活																										0	35
情報活用能力																										0	35
表現力(話し方・聞き方)																										0	35
情報活用能力(情報の整理分析)																										0	35
情報機器操作																										0	35
時数		96		95		105		49		17		89		100		117		61		107		90		49		975	1015
時準		79		89		109		74		25		99		104		99		89		74		89		84		1014	

4年

他者から学ぶ姿勢

相手への影響を考慮して、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

	時	4月	時	5月	時	6月	時	7月	時	8月	時	9月	時	10月	時	11月	時	12月	時	1月	時	2月	時	3月	時	時数	標準時数								
行事		始業式・入学式 町別集会 交通安全教室 検診 参観・懇談会 家庭訪問		1年生を迎える会 遠足 全国学テ 検診		山の家 参観・懇談会		個人懇談会 終業式		始業式 Jプロ、プレJ		参観 検診		スポーツフェスティバル 修学旅行 大文字予選会		就学時検診		参観(人権と音楽の集い) 個人懇談会 終業式		始業式 科学C学習 Jプロ、プレJ		参観・懇談会		6年生を送る会 参観・懇談会 卒業式 修了式											
国語		1 こんなどころが同じだね 1 春のうた/つづけてみよう 8 白いぼうし 1 図書館の達人になろう 2 漢字の組み立て 2 漢字辞典の使い方 2 春の楽しみ 6		2 漢字の広場 ① 9 思いやりのデザイン(アンプル)で伝える(花ようばう) 考えと作 2 カンジーはかせの都道府県の旅 1 7 お礼の気持ちを伝えよう		2 漢字の広場 ② 8 一つの花 2 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 1 短歌・俳句に親しもう(一) 1 [じょうほう] 要約するとき 14 関を作ろう(コラノ) アンケート調査のしかた		2 カンジー博士の都道府県の旅 2 5 夏の楽しみ 2 忘れもの/ぼくは川 4 あなたなら、どう言う 2 パンフレットを読もう				2 いろいろな意味をもつ言葉 2 漢字の広場 ③ 13 こんぎつね 2 秋の楽しみ 9 クラスみんなで決めよう		2 漢字の広場 ④ 18 音楽にほたる(動物)とよ(きき) 自然現象の調べ方(自然現象の調べ方)とよ(きき)		2 慣用句 1 短歌・俳句に親しもう(二) 2 漢字の広場 ⑤ 9 プラタナスの木 8 感動を言葉に		2 冬の楽しみ 4 自分だけの詩集を作ろう 2 熟語の意味 2 漢字の広場 ⑥ 9 ウナギのなぞを追って		4 つながりに気をつけよう 14 もしものときにそなえよう		9 調べて話そう、生活調査隊 2 まちがえやすい漢字 8 初雪のふる日				215	215								
書写		2 世界の「こんには」/ 石巻生で学習すること/ はじめの学習 2 点画の筆使い		1 レッツ・トライ(発表しりよう) 2 筆順と字形		1 こゝ筆の学習 筆順と字形 2 じらがなの筆使い		1 レッツ・トライ(ノート)				1 レッツ・トライ(はがき) 2 文字の組み立て方(左右)		2 文字の組み立て方(上下) 4 文字の組み立て方(選たく)		1 こう筆の学習 文字の組み立て方 1 レッツ・トライ(文化) 1 レッツ・トライ(かるた)		3 書きぞめ		4 学習のまとめ					30	30									
社会		2 日本地図を広げよう 6 京都府の様子		13 くらしと水		11 らしとごみ/使った水のゆくえ						9 自然災害からくらしを守る		10 昔から続く京都府の祭り～紙園祭～		14 用水のけんせつ～琵琶湖疏水～		8 古くから受けつがれてきた産業のさかんな宇治市		7 国際交流のさかんな舞鶴市		10 ゆたかな自然を生かす宮津市				90	90								
算数		1 わくわく算数学習 9 1 角とその大きさ 7 2 折れ線グラフ 11 3 1けたでわるわり算の筆算		1 ふく習 9 4 一億をこえる数		5 5 垂直・平行と四角形		10 6 小数 1 算数ラボ 1 算数の自由研究 1 ふく習 11 7 2けたでわるわり算の筆算				8 割合 9 9 式と計算の順じ		1 そろばん 1 10 面積 1 ふく習 9 11 がい数とその計算		2 図を使って考えよう 17 12 小数のかけ算やわり算		1 見積もりを使って 1 どんな計算になるのかな 1 ふく習 5 13 調べ方と整理のしかた		1 表を使って考えよう 8 14 分数 1 ふく習 7 15 変わり方 12 16 直方体と立方体		1 だれでしょう 2 みらいへのつばさ 3 もうすぐ5年生				175	175								
理科		1 季節と生物[1]春の始まり 7 1 天気と気温 2 季節と生物[2]春		8 3 電池のはたらき		6 4 とじこめた空気や水 2 季節と生物[3]夏		2 星や月[1] 星の明るさや色 3 自由研究				2 季節と生物[4]夏の終わり 10 5 雨水のゆくえ		8 6 星や月[2]月と星の位置の変化		9 7 わたしたちの体と運動 4 季節と生物[5]秋		8 8 ものの温度と体積		2 星や月[3]冬の星 6 季節と生物[6]冬 8 10 もののあたたまり方		8 11 すがたを変える水		1 季節と生物[7]春のおとずれ			105	105							
総合		2 吉田の町Ⅳ(茶道について考える)		10 茶道について調べる		4 茶道についてまとめる 4 茶道について発表する 8 茶道の利にけい(人)がはんでいるのたうか		13 茶道について住みやすいまちと何たう 2 エコライフチャレンジ				10 認知症学習		10 高齢者ふれあい会に向け							7 一年間の取り組みを振り返ろう					70	70								
目指す子どもの姿		表現力 (話し方・聞き方)					・新聞やパワーポイントを用いて自分が調べたことや分かったことを短い文や絵や図を用いてまとめることができる。相手意識をもって伝えることができる。					情報活用能力 (情報の整理分析)					・ふせんを使って考えを交流することができる。 ・シンキングツールを活用して、異なる意見を整理することができる。					情報機器操作					PowerPointでのプレゼンテーションができる。 OneDrive等でフォルダへの保存がで								
音楽		5 1 音楽で心の輪を広げよう		7 2 歌声のひびきを感じ取ろう		9 3 いろいろなリズムを感じ取ろう		3 4 ちいきにつたわる音楽に親しもう				8 5 せんりつのとくちようを感じ取ろう		7 6 せんりつのもなりを感じ取ろう		8 7 いろいろな音のひびきを感じ取ろう		5 8 日本の音楽でつながろう		8 9 曲の気分を感じ取ろう							60	60							
図工		2 絵の具でゆめもよう 2 こににたい 2 立ち上がり！ねん土		6 わすれられない気持ち		6 ゴー！ゴー！ドリームカー 2 色合いひびき合い						6 ギョギコトントクレーター 4 光のさしこむ絵		6 ひみつのすみか		2 光とかげから生まれる形		6 おもしろだんボールボックス		6 ほってすって見つけて		2 まどをのぞいて 6 カードで伝える気持ち 4 ココロカラー 4 まぼろしの花 2 こをつつんだら		2 ポーズのひみつ 2 つなぐんぐん 4 元気のおまもり 2 これでえがくと 4 言葉から形・色 6 ようこそ！ゆめのまちへ				88	60						
体育		4 体ほぐしの運動 6 リレー		2 新体力テスト 4 遠投・鉄ぼう運動(1) 8 とび箱		4 すもうあそび 4 体の発育・発達		12 水泳運動				6 民よう「鳴子」		6 ハードル走 マツト運動		6 表現「四季」 3 鉄ぼう運動(2)		6 高とび 8 陣取りゲーム		6 ソフトバレーボール		4 なわとび・ゆつくりベース走		8 サッカー				105	105						
道徳		1 1 あなたの時間にいのちをふきこめば 2 2 目覚まし時計 3 3 あいさつができた		1 4 小さな草たちにはくしゅを 1 5 さち子のおが 1 6 海をこえて 1 7 ちこ		1 8 決めつけないで 1 9 いのりの手 1 10 雨のバスでいりゅう所で 1 11 ええことするのば、ええもんや！		1 12 ぼくの草取り体験 1 13 家族の一員として				1 14 ほんととくちようはきつたは 1 15 花さき山 1 16 がむしやらに		1 17 遠足の朝 1 18 いじりといじめ 1 19 雨ととの様 1 20 つくればいいでしょ		1 21 交かんメール 1 22 ヒキガエルとロバ 1 23 お父さんのじまん 1 24 新次のしょうぎ		1 25 聞かせて、君の声を！ 1 26 心と心のあくしゅ 1 27 朝がくると		1 28 ネコの手ボランティア 1 29 金色の魚 1 30 浮世絵 一編をわたったジャン・ブルームー		1 31 三つのつつみ 1 32 「まっ、いいか」でいいのかな 1 33 よわむし太郎		1 34 にぎりしめた いね 1 35 かわいそうなぞう				35	35						
外国語		2 1 Hello, world! 4 2 Let's play cards.		3 3 I like Mondays.		4 4 What time is it?					4 5 Do you have a pen?		4 6 Alphabet		5 7 What do you want?			4 8 This is my favorite place.		5 9 This is my day.						35	35								
特活		1 学級目標を決める 1 一学期もあててを決めよう 1 安全指導 1 掃除指導 1 係活動を決めよう 1 クラブを決めよう		1 安全指導 1 係活動を見直そう 3 自転車教室		1 安全指導 1 係活動を見直そう 3 自転車教室		1 安全指導 1 係活動を決めよう 1 二学期のめあてを決めよう		1 安全指導 1 係活動を決めよう 1 スポーツフェスティバルのふりかえり		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 スポーツフェスティバルのふりかえり		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 スポーツフェスティバルのふりかえり		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 冬休みのくらし		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 三学期のめあてを決めよう		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 性に関する指導		1 安全指導 1 係活動を見直そう 1 係活動を見直そう 1 性に関する指導		1 安全指導 1 係活動を見直そう											

令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)

育成をめざす資質・能力
重視する情報活用能力

多面的に考える力

場に応じた表現力(情報活用)

「自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる」

根拠に基づく判断力

相手や目的、意図に応じて適切な複数の表現手段を組み合わせ、相手とのやり取りを含めて表現する。

※場に応じた表現力

勇気ある行動力

法の理解と遵守(モラル)

他者から学ぶ姿勢

他人や社会への影響を考えて、情報を利用するときのルールやマナーを守って行動する。

6年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数	標準時数
行事	始業式・入学式 町別集会 交通安全教室 検診 参観・懇談会 個人相談会	1年生を迎える会 遠足 全国学テ 検診 山の家	修学旅行 学習発表会	個人懇談会 終業式	始業式 Jプロ、プレJ	参観 検診	スポーツフェスティバル 大文字予選会	就学時検診 参観(人権)	個人懇談会 終業式	始業式 科学O学習 Jプロ、プレJ	参観・懇談会	6年生を送る会 参観・懇談会 卒業式 修了式		
国語	1 つないで、つないで、一つのお話 1 春の河／小景異情／続けてみよう 4 掃り道 1 地域の施設を活用しよう 2 漢字の形と音・意味 2 春のいぶき 6 聞いて、考えを深めよう	1 漢字の広場① 7 笑うから楽しい／時空の移動と心の中／【情報】正義と善悪 1 話し言葉と書き言葉	3 たのしみは 2 文の組み立て 1 天地の文 2 【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき 10 私たちにできること	2 夏のさかり 5 私と本／森へ 1 せんねん まんねん		2 いちばん大事なものは 3 利用案内を読もう 2 熟語の成り立ち 1 漢字の広場② 8 やまなし／【資料】イーハトーヴの夢	2 言葉の変化 2 秋深し 6 みんなで楽しく読もうために／【コラム】読書にたいへん 1 漢字の広場③	11 古典芸能の世界――演じて伝える 2 カンジー博士の漢字学習の秘伝	1 漢字の広場④ 4 狂言 柿山伏／「柿山伏」に 6 大切にしたい言葉 1 漢字の広場⑤	2 冬のおとずれ 2 詩を朗読しようかいしょう 1 仮名の由来 6 漢字を楽しく読めるように／【コラム】覚えておきたい言葉 2 漢字を楽しく読めるように／【コラム】覚えておきたい言葉 3 人を引きつける表現	7 思い出を言葉に 6 今、私は、ぼくは	1 漢字の広場⑥ 6 海の命 4 中学時代をつづけるよう／生きるとは／あなたに考えてほしいこと	145	145
書写	1 文字の旅／六年生で学習すること 1 はじめの学習	2 文字の大きさと配列 1 レッツ・トライ(メモ)	3 文字の組み立て(五つの部分)／漢字の学習 文字の 1 レッツ・トライ(ノート)	1 レッツ・トライ(リーフレット)		3 文字の大きさと配列、点画の 1 レッツ・トライ(文化)	3 文字の大きさと配列、点画のつな 2 レッツ・トライ(小筆) 4 好きな言葉を書く			4 書きぞめ／はってん	3 学習のまとめ		30	30
社会	7 わたしたちのくらしと日本国憲法	4 国の政治のしくみと選挙 7 7歳で支える国／国を築くこと／国を築くこと／国を築くこと	8 縄文のむらから古墳のくにへ	6 天皇中心の国づくり		3 貴族のくらし 6 武士の世の中へ 4 今に伝わる室町文化	6 戦国の世から天下統一へ 6 江戸幕府と政治の安定	6 町人の文化と新しい学問 7 明治の国づくりを進めた人々	6 世界に歩み出した日本	7 長く続いた戦争と人々のくらし 9 新しい日本、平和な日本へ	7 日本とつながりの深い国々 6 世界の未来と日本の役割		105	105
算数	1 わくわく算数学習 10 1 対称な図形 8 2 文字と式	3 3 分数×整数、分数÷整数 2 復習 14 4 分数×分数	12 5 分数÷分数 10 6 資料の調べ方	1 どんな計算になるのかな 2 算数の自由研究 2 復習 6 7 円の面積		7 8 立体の体積 9 9 比とその利用	2 表を使って考えよう(1) 2 復習 12 10 図形の拡大と縮小	3 11 およその形と大きさ 18 12 比例と反比例	3 表を使って考えよう(2) 2 見積もりを使って 2 算数ラボ 2 復習	11 13 場合を順序よく整理して 3 図を使って考えよう 1 すごろく 3 みらいへのつばき	18 6年のまとめ	6 ひろがる算数	175	175
理科	1 わたしたちの生活と環境 10 1 ものの燃え方	5 2 植物の成長と日光の関わり 11 3 体のつくりとはたらき	6 4 植物の成長と水の関わり	7 5 生物どうしの関わり 2 自由研究		8 6 月と太陽	12 7 水よう液の性質	12 8 土地のつくりと変化	11 9 てこのはたらき	11 10 私たちの生活と電気 9 11 生物と地球環境			105	105
総合	10 災害から命を守る 10 情報モラルの指導	10 災害から命を守る			2 京都の魅力を発信しよう	6 京都の魅力を発信しよう	6 京都の魅力を発信しよう	6 京都の魅力を発信しよう	6 共生の世界へ向かって	7 共生の世界へ向かって	7 共生の世界へ向かって		60	70
目指す子どもの姿	表現力 (話し方・聞き方) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから伝えたいことを明確にし、聞き手の反応に合わせて効果的に話すことができる。 資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 事実と感想、意見等を区別しながら聞くことができる。 情報活用能力 (情報の整理分析) 合意形成のために最適な方法を選択することができる。 情報機器操作 目的に応じて効果的なアプリケーションを選択できる。 Officeやロイロノートで、共同編集機能を効果的に活用している。													
音楽	6 1 歌声をひびかせて心をつなげよう	8 2 いろいろな音色を感じ取ろう	3 3 旋律の特徴を生かして表現しよう			8 4 いろいろな和音のひびきを感じ取ろう	9 5 曲想の変化を感じ取ろう	5 6 詩と音楽の関わりを味わおう		4 7 日本や世界の音楽に親しもう	7 8 音楽で思いを伝えよう		50	50
図工	6 わたしの大切な風景	6 くるくるクランク	4 音のする絵 2 平和をつなげる形	2 わたしの感じる和		4 美術館へ行こう	2 墨と水から広がる世界 1 この筆あと、どんな空？	6 版で広がるわたしの思い	4 言葉から想像を広げて	8 1 まいの板から	6 未来のわたし		51	50
家庭	2 見つめてみよう 生活時間	10 9 朝食から健康な1日の生活を		8 10 夏をすずしくさわやかに		14 11 思いを形に生活を豊かに		10 12 まかせてね今日の食事	3 生活を変えるチャンス！	5 13 冬を明るく暖かく	2 14 あなたは家庭や地域の宝物 1 2年間のまとめ		55	55
体育	4 体ほぐしの運動(1)・パワーアップ体操	2 新体力テスト 6 走り高とび	8 病気の予防 6 マット運動	12 水泳運動		6 リズムダンス 6 ハードル走	5 民よう「ソーラン」節 3 とび箱運動	7 タグラグビー 3 とび箱運動	5 なわとび・ジョギング	6 バasketボール	4 体ほぐしの運動(11)・ぼう引きつな引き 4 サッカー	3 サッカー	90	90
外国語	6 Let's start!/1 This is me./Fun Time1	8 2 Welcome to Japan./Fun Time2	1 パフォーマンスチャレンジ 6 3 What do you want to watch?/Fun Time3	1 Review 世界の友達 1		8 4 My Summer Vacation/Fun Time4 6 5 He is famous. She is great./Fun Time5	8 6 This is my town./Fun Time6 1 パフォーマンスチャレン	6 7 My Best Memory/Fun Time7	1 言葉について考えよう/Review 世界の友達 2	8 8 What do you want to be?/Fun Time8	8 9 Junior High School Life/Fun Time9	1 パフォーマンスチャレンジ 1 Review 世界の友達 3	70	70
道徳	1 1 スポーツの力 2 命のアサガオ 1 3 ほんとうのことだけど…… 1 博吉くんのさか上がり	1 25 自由行動 1 5 言葉のおくり物 1 6 母の仕事	1 16 上村さんのちょうせん。ーひさい丈と共にー 1 9 心づかいと思いやり 1 28 自分を守る力って？ 1 11 緑の騎士ーワンガリ・マータイー	1 12 カスミと携帯電話 1 13 ぼくたちの学校		1 14 地球を一周歩いた男ー伊能忠敬ー 1 15 初めてのアンカー 1 27 人間をつくる道ー剣道ー	1 17 ぼくだって 1 24 青の洞門 1 21 エルトールル等ー日本とトルコのつながりー 1 22 その思いを受けついで	1 23 団地と子犬 1 「源氏物語」と出会ったときから 1 わたしの大文字駅伝 1 20 手品師	1 雨森芳洲と朝鮮通信使 1 31 わたしのせいじゃない	1 19 天下の名城をよみがえらせるー姫路城ー 1 自分ができること 1 文化ふる街ー京都(世界文化自由都市宣言関連)	1 26 杉原千蔵ー大勢の人の命を守った外交官ー 1 みんな同じ人間なのだ 1 どれい解放のためにーリンカーンー 1 どころだけのスパイク	1 32 iPS細胞の向こうに 1 34 最後のおくり物	35	35
特活	5 学級開き 2 係活動	8 修学旅行にむけて 2 クラスの課題	2 係活動 2 クラスの課題	4 お楽しみ会をしよう	1 夏休みの出来事	2 係活動 2 クラスの課題	2 クラスの課題	2 クラスの課題	4 お楽しみ会をしよう	2 ほっこりタイム	2 卒業に向けて	6 1年の振り返り	48	35
英語活動	○10分間で400字程度の文字入力 ○「カメラ」アプリの使用 ○「フォア」アプリの使用	○フォルダ内のファイルを検索 ○ダウンロードでファイルの管理 ○OneDriveでファイルの管理 ○【ロ】共同編集	○目的に応じてアプリを選択 ○「Word」での編集や記録 ○「PowerPoint」での編集や記録	○「Excel」での編集や記録 ○目的に応じてofficeアプリを選択 ○【T】ファイルの送受信	○【ロ】ファイルの送受信 ○【T】ファイルの送受信	○複数のキーワードや条件を工夫して検索 ○「ビデオエディタ」アプリの使用	○資料等を活用してオンライン学習 ○【Z/T】音量・背景等の調整						0	35
英語活動(その他)													0	35
英語活動(その他)														
時数	101	121	96	64	3	122	95	105	70	106	103	33	1019	1085
時準	79	89	109	74	25	99	104	99	89	74	89	84	1014	

研究同人

青井 杏実	有山 陽子	池田 希	池永 昌堅	伊藤 理香
大西 慧佑	大西 潤一	大葭原 理恵	角川 哲平	兼田 亮平
加納 ゆき	木村 純也	木本 智子	甲谷 洋子	小西 聡子
小林 歩	小山 仁美	鈴木 貴子	鈴木 万佐子	芹澤 和恵
曾我 保英	谷山 典子	車 郁代	辻 知美	筒井 綾香
出口 知子	西澤 味佐子	西山 大輝	仁田脇 宝珠	萩寄 由美子
長谷川 英司	濱 千尋	樋口 華乃	菱野 暖	平野 ひとみ
平松 孝	白 静姫	星野 愛	松田 絵里	松山 雄樹
宮地 法子	宮田 ジンキーローズ		森口 法子	山田 千恵子
山根 歌奈子	吉田 順子	ローソン・ジャクソン		渡邊 夏奈

(五十音順)

本研究は、**教育実践・支援のためのプロジェクト研究助成事業（JNK4 情報ネットワーク教育活用研究協議会）**の助成を受けて実践を進めてきました。（令和4・5年度の1年次）

令和5年3月

編集・発行／京都市立第四錦林小学校